

平成26年度
「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」
実施報告書

日時 平成26年7月7日(月) 9時30分～11時30分

会場 大阪市立中央図書館 大会議室

平成26年度 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

当日次第

1. 日 時 平成26年7月7日（月） 午前9時30分～11時30分
2. 場 所 大阪市立中央図書館 5階 大会議室
3. 議事次第
 - (1) 事務局報告
 - 第2次大阪市子ども読書活動推進計画の策定、経過 (生涯学習部)
 - 「子どものための施設ガイド・タッチ」について (生涯学習部)
 - 学校図書館活性化事業など学校における取組みについて (指導部)
 - 大阪市立図書館子ども向け図書館サービスの推移 (中央図書館)
 - 区の子どもの読書活動推進連絡会について (中央図書館)
 - (2) 事例報告
 - 【報告1】中学校における読書活動の推進
 - 【報告2】子どもが語り手のおはなし会
 - 【報告3】書評漫オグランプリの取組み
 - (3) 学識経験者、社会教育関係団体代表者より助言

目 次

○事例報告	
【報告1】中学校における読書活動の推進	
「上町中学校と島之内図書館との連携でできたこと」	1
【報告2】子どもが語り手のおはなし会～パンジーおはなし会ジュニアの活動～	2
【報告3】書評漫オグランプリの取組み～10代に新たな形で読書の魅力を伝える～	3
○意見交換	5
○当日配布資料	
第2次大阪市子ども読書活動推進計画（概要）	10
子どものための施設ガイド タッチ	11
平成24年度学校図書館活性化事業最終報告	13
平成25年度学校図書館活性化事業中間報告	20
平成24年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ	27
平成25年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ	29
第2次計画を推進するための重点的取組み数値	31
平成25年度各区子どもの読書活動推進連絡会 報告	32
事例報告での配布資料	34
平成26年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会出席予定者名簿	41
平成26年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿	42

— 事例報告 —

【報告1】中学校における読書活動の推進 「上町中学校と島之内図書館との連携でできたこと」

(中央区上町中学校学校元気アップ地域本部
岸田 香織)

上町中学校地域コーディネーターをしております岸田と申します。上町中学校と島之内図書館の連携でできたことを発表します。

上町中学校は学校元気アップ事業を2011年にスタートしました。スタートするにあたり、本校は言語力育成そして学習活動支援の取組みという、2本の柱を設定しております。学習活動支援というのは主にテスト前学習を行っています。言語力育成の取組みとしまして、学校図書館活動の活性化を行いました。言語力を育成するのに学校内の施設を使うとして、想定できるのはごくシンプルに図書館かなという発想からです。

具体的には7月から図書館の開館の日を増やしました。昼休みは毎日、放課後は週2回開館といたしました。実は放課後は、利用者が少なく、ボランティアが不足ということもあり、この4月からは週1回に減らしました。無理をしない改革時には必要かなと思っております。地域ボランティアだけでなく、図書委員会の生徒も熱心に活動しており、利用も特に昼休みは定着してきました。さらに何かできないか、イベント的なこと、絵本の読み聞かせのようなことができないかという話が出て、島之内図書館との連携が始まりました。私は偶然にも島之内図書館の図書ボランティア

「絵本の会島之内」の一員でもあったので、定例会のほうで「中学校で本を読んでみませんか」と提案しました。想像以上に反響がありまして、「家から近いです」「子どもが卒業生なんです」という方がメンバーの中にいまして、読みたいボランティアが集まりました。それで具体的に話が進んで、2011年11月8日に「第1回読み語りの会」が実現しました。ここで補足ですが、上町では読み聞

かせという言葉ではなく、読み語りという言葉を使っています。読んで聞かせるという強制的な押し付けではなく、読んだり語ったり、読み手も聞き手もともに楽しい時間を過ごすという思いを込めてのネーミングです。

さて11月8日、生徒たちは30名近く来てくれたかと思えます。学校全体、クラスの先生がた、クラブの顧問、図書委員会の生徒たちの協力が大きかったかと思えます。学校配布プリントの学校行事の欄にも入れていただき、保護者への周知もあったのはありがたいことだと思います。こうして始まった「読み語りの会」も今年で4年目を迎え、12回行いました。生徒は毎回20人以上参加し、先生、島之内図書館長、ボランティアも絵本の会島之内のうち10人が参加しています。

ここで、話ばかりではなく、映像もみていただきたいと思えます。

(映像1)「元気アップ新聞」

毎学期末に発行しています。島之内図書館長の推薦図書の記事もでています。

(映像2)「元気アップ室」

ミーティングや作業ができて助かります。

(映像3) コラボ企画「ジャズのゆうべ」

(映像4) 学校図書館の開館時の様子

(映像5) お琴とのコラボ企画

(映像6) PRポスター 図書委員長が声かけ

(映像7)「読み語りの会」の様子

授業と同じ50分を目安でプログラム。

読み手が5～6人。素話等。

(映像8) 読み手が大勢いる様子

(映像9) 学習風景(自学自習)

(映像10) ギターと読み語りのコラボ

(ジョン・レノンのイマジ)

成果としては、学校図書館の開放日を増やしたことで、生徒の利用や貸出冊数が増えたことは数値としては明らかなのですが、そのことや読み語りによって言語力育成につながっているかという

と、即数値としては出にくい部分かとは思いますが、毎日学校図書館が開いていることを生徒たちが喜んでくれていることや読み語りを楽しみにしてくれていることを感じ、また、生徒たちが「自分の為になにかやってくれている」と、元気アップの活動をだんだん認知してくれているというのは喜ばしい成果と思っています。また、ボランティア自身も「中学校で読みたい」とか、中学生が聞きに来てくれているのを楽しみにしているのも一つの成果かと思っています。

今後は、継続していくことが大事で、これからはいろいろな本を中学生たちに紹介していきたいと思っています。また、いろいろなコラボ企画もやっていけたらと思っています。

上町中学校では地域の図書館である島之内図書館との連携で、本の世界を私たちボランティアと生徒たちが共有することができました。ボランティアの中には、高齢者もいますので、世代間交流ができていけるのも喜ばしいことです。

最後に、読み語りを始めたいと思ったら、まず、地域の図書館に連絡をされたらいいかと思います。元気アップ事業の趣旨は、地域からの支援をいただいて、より魅力的な学校作りをすることなので、ぜひ地域図書館とのつながりをもっていただけたらと思います。

【報告2】子どもが語り手のおはなし会

～パンジーおはなし会ジュニアの活動～

(パンジーおはなし会 異 澄子)

「パンジーおはなし会」は、平成17年1月頃に東成図書館で開催された「小学校派遣ボランティア養成講座」の受講生の中の、東成区在住の者で立ち上げ、今年9年目になります。現在メンバーは9名で、区内7校の小学校の授業時間内に「おはなし会」を行い、絵本2冊とお話2話を届けています。学校により、年に1回もしくは2回、または学期ごとにと依頼が増え、今では東成区の小学生に「パンジーおはなし会」の名前がよく知られて、とても嬉しく思っています。

次に、「パンジーおはなし会ジュニア」(以下ジュニア) 立ち上げのきっかけについてです。活動後に感想文をもらうことが多く、その中に、「ぼくも、私もパンジーおはなし会の人たちのようにやってみよう」との声があり、嬉しく思っていたところ、平成20年度区役所の市民企画募集事業の「こどもが元気！」という募集テーマに、「これだ！」と思い、メンバーとも相談し、応募して採用となりました。4年生以上で募集しましたが、兄弟姉妹での参加も認め、1年生で入会してもちろんとできることがわかりました。子どもたちにはすごい力があります。平成20年12月から2月の間に9回講座をし、9回目の講座は修了発表会とし、区長さんから修了証書を渡していただきました。翌年も引き続き申請し、助成を受けましたが、その後は助成がなくなり、パンジーおはなし会で単独運営をして今年6年目となります。

ジュニアの活動内容について紹介します。毎月第4土曜日の定例の練習では、発声練習、お話や絵本選び、実践練習などをします。年に2回、8月と3月に東成図書館で「パンジーおはなし会ジュニアによるおはなし会」開催しています。学校が夏休み・春休みの土曜日または日曜日の2時から4時なので、学校の先生や地域の方たちも見に来てくださいます。

語りやアニメーション、演劇の講師に来ていただき、実践しながら自分磨きをしたり、中央図書館の「おはなしのしいでえ！」の見学や国際児童文学館の見学ツアーに参加するなど、いろいろな絵本やお話にふれる経験をしています。学校も学年も違う子どもたちだが、一緒に行動したり、お弁当を食べたりするうちに、高学年が低学年の面倒を見たりして、どんどん仲良くなります。遠足に行ったり、クリスマス会をしたりもします。

また、ジュニアはボランティア活動もしていません。はじめは、子どもたちが楽しく発表するだけでしたが、地域の方たちがジュニアの活動を知り、依頼してくださるようになりました。現在は高齢者施設や保育所、図書館、地域の集会所、子育て

支援センター、子育てサークルなど、パンジーおはなし会より引っ張りだこです。特に高齢者や保育園児にとっても喜んでもらっています。保護者も協力的で活動場所への送迎や昼食作りをしてくださっています。

ジュニアの今後についてです。中学生になり退会した子が、卒業式の在校生代表で送辞を読んだが、内容を全部覚えて話していたと、保護者から聞きました。ジュニアの時に、慣れていたからだろうと、私たちも嬉しく思いました。今後もジュニアの活動を続けていこうと思います。小学校を卒業すると、部活や受験で、退会する子もいますが、高校生になって戻ってきてくれたり、ずっと続けて将来「パンジーおはなし会」に入りたいという子もいて楽しみです。

地域とのつながりは、東成区全体の取り組みでもあるので、依頼があれば、積極的に参加し、協力していきたいと思っています。

手前みそになりますが、我が「パンジーおはなし会」は、みんなが同じ思いで子どもたちの読書活動の推進に努力するグループで、より良い活動を目指して一丸となっています。暇さえあれば、絵本やお話についておしゃべりし、わいわいやるのが楽しく、そんな会を誇りに思っています。

この場をお借りして東成図書館の自慢もさせてください。私たちは、小学校へ行く時、使用した本は全部各クラスに置いていくことを続けています。絵本2冊とお話の本2冊です。クラス数の多い学校もあり、本集めにとてもご苦労いただいています。快くしてくださるので本当に有難いです。小学校にも管理をお願いし、子どもたちにも本を大切に扱うように言っています。私たちは、これをずっと続けていこうと思っています。

これからも「パンジーおはなし会」は、自分磨きと、ジュニア育ての2本柱で頑張っていきます。そして、いつか、成長したジュニアの子どもと一緒に、小学校への活動ができたらいいなあとと思っています。それまで、元気に頑張りたいと思います。本日は有難うございました。

【報告3】書評漫オグランプリの取組み ～10代に新たな形で読書の魅力を伝える～ (大阪市立中央図書館 利用サービス担当

林 隆子)

本日は当館で実施しました書評漫オグランプリの取組について発表させていただきます。

当館には、10代の若者向けの図書などを集めた「ヤングコーナー」があります。担当で、従来からイラストコンテストや講座など中高生をターゲットにした企画をいくつか実施していました。講座自体は好評ですが、10代の参加が少なく、高齢の方が多く参加されていることが課題としてあげられていました。

小学校では読み聞かせ等が盛んで、子どもたちも本にふれる機会が多いのですが、中学校にすすむにつれて別のことに興味に移ったり、学業や部活が忙しくなったりして、機会が減ってくるようです。この年代に読書や図書館に興味を持ってもらうにはどうしたらいいか考えました。

そこで、講座の開催時に「どのような行事をしてほしいですか？」とアンケートを取ったところ、「お笑いコンテスト」が上位になりました。その時期、折しも「ビブリオバトル」(お勧めの本を紹介して、何人か紹介した後で、会場の来場者が投票してチャンプ本を決めるというイベント)が全国的に話題になり、他市の図書館でも実施していました。このビブリオバトルに漫才の要素を加えたらひょっとして10代にアピールするのではないかと担当者は考えて、「書評漫オグランプリ」と名前をつけて企画をもってきました。

企画の概要は、以下のとおりです。

◎二人以上のユニットで、1冊の本を漫オスタイルで紹介する ◎持ち時間は3分 ◎審査員の評価で優勝者を決める ◎「書評漫才(SBR)グランプリ」(SBRはスタンドアップ・ブック・レビューの略) ◎参加資格は10代のコンビ ◎評価基準は本を読みたくさせたか・紹介の面白さ・その他(見た目のインパクトなど)です。

たしかにこの企画は今までになかったし、参加

型であることがいいと思いました。二人組で出られることは、友人を大切にする10代には合うかもしれないし、大阪の土地柄、「お笑い」と結びつけて興味をもってもらえるかと思いました。ティーン層はシャイだし、出場者が集まらないのではという心配もされましたが、図書館が若いエネルギーを発揮してもらえる場になればと思い、冒険でしたが、やってみることにしました。

書評漫才では来場する身内の人達が投票することも予想されたので、審査員が必要ということになりました。第1回には、中央図書館に隣接する高校の校長先生、大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）の学芸員、公務員漫才コンビ「安定志向」のメンバー、第2回では、加えて、大阪在住の作家、図書館行事協賛の地元菓子店の広報担当者にもお願いできました。

はじめての試みで、出場者募集の広報が心配でしたが、企画を説明すると、図書館で漫才コンテストという意外性を感じるのか、どなたも興味を持ってくれました。地元の新聞・テレビ・ラジオでも取り上げられました。ただ、ターゲットが、中高生でお笑い好きで本好きで、人前で何かするのが好きという非常に限定された対象だったので、できるだけ出てくれそうな人の目に届くように、図書館や学校はもちろんのこと、お笑い関係の養成学校、舞台関係の専門学校や漫才コンテスト予選会場まで、思いつく限りのところにチラシやポスターを配りに行きました。また若者向けということで、ツイッターなども活用し、ホームページにはデモ動画をアップしました。第2回では、関連事業として、お笑い芸人の書いた本の展示、ワッハ上方の資料展示をすることができました。それでも、出場者の出足は振るわず、1組だけという期間が相当長く続きました。締切も延ばしました。すると、締切2週間前ぐらいから申込があり、第1回は高校生7組の出場申込がありました。第2回も同様の状況でしたが、ワッハ上方の資料展示の際、あわせてアピールしてくださり、小学生3組・中学生4組・高校生5組の計13組が出場し

ました。

（第1回・第2回の動画を上映）

第1回はとても心配だったのですが、約90名の来場者の温かい目と参加コンビの熱意ある舞台に、会場は笑いにつつまれました。第2回は来場者も増え、笑いの渦に満たされました。小学生や中学生とかいろいろな層が出場してくれたので、またちょっとかわった雰囲気でした。

どのコンビも一生懸命でみんなに賞をあげたいととても審査は難航しました。取り上げている本もバラエティに富んでいました。来場者の感想も、「大阪的な新しい催しでよかった」など好意的で、高齢の方も参加し、今の若者を見なおしてくれたのがよかったかと思っています。出場者のほうも、「楽しかった」という感想が多かったのと、「また出場したい」という言葉ももらいました。

2回のグランプリを通して、10代の人に読書への関心を持ってもらおうという当初の目的は達成できたかと思っています。友人といっしょに本について話をする機会を持ち、笑ってもらうために題材を読み込むとか、おもしろく聞かせることでコミュニケーション力がつくとか、漫才をすることでいろんな力ついたのではないかと思います。でも、なによりも一番の成果としては、参加してくれたみなさんに読書の魅力を伝え、それをみんなと共有するのは楽しいことだということを味わってもらえたことではと思っています。

10代向けの新しいサービスということで、文科省の図書館実践事例集「様々な利用者へのサービス」の一例として取り上げられました。地元の学校からも申し出があり、市内の小中学校で書評漫才講座やワークショップを開催しました。今後も引き続き、このイベントを充実させ、それとともに学校での講座など外に出ていくことも続けまして、10代の人たちに読書の楽しさを伝える取り組みを広げたいと思っています。

【学識経験者からの助言】

久 隆浩（近畿大学教授）

3つの発表はばらばらな内容に見えて、いろいろなものとコラボしていくということで、ひとつ骨子が通っていると思えました。

書評漫才というワッハ上方とコラボをする、これは漫才ということでコラボせざるを得なくなったということでしょうが、今まで別々に活動していた図書館とワッハ上方がくっついて、さらに幅が広がっています。コラボするのは、やってみるとそんなに簡単なことではありません。そのしんどさを乗り越えて、お互いのメリットが見えてくるのではないかと思います。

上町中学校の場合はいろんな方々がいて、案外コラボはやりやすいのではないかと思います、それでも興味関心が違う方々が繋がっていくには誰かがコーディネートしていかないといけないでしょう。

イマジンの演奏を聞きながら、訳を読み語りすることで、英語の動機づけにもなるのではないかと思います。音楽好きな子が英語の訳を聞いて、「あっ、こういう深い意味があるのか」と知って、「じゃあ英語勉強すると、そういうことが見えてくるんだな」と繋がってきます。体育会系で、ほとんど本を読まない子も長谷部選手の本は読みます。ワールドカップサッカーで活躍した彼のスポーツに対する思いは、やはりスポーツやっている人たちにとってはすごく共感を覚えるものがあるのです。テーマ関心によって、話題を提供すれば、いろんな機会があるのではないのでしょうか。

パンジーおはなし会も、子どもたちが小学校に行けば参加者になり、お母さん方もボランティアになってくれる可能性もできます。大人が読むよりも子どもが読んだら、あのお兄ちゃんお姉ちゃんみたいになってみたいとか、友だちのようになってみたいと、子どもから子どもへ繋がっていきます。高校生がもう一度戻ってきてくれるとい

う話もありましたが、大きくなったら今度はその子がボランティアになってくれるという可能性もあります。そういう意味では子どもさんとずっと繋がっていくのは重要かと感じます。やってみたらなんとかなるという気がするので、もっと他のところでもチャレンジしていただければ有難いと思います。

村木美紀（同志社女子大学准教授）

私は専門が図書館情報学であり、大学では主に司書課程とか司書教諭課程科目を担当しておりますが、学芸学部情報メディア学科の所属なので、それ以外にもメディア論を教えています。子どもとメディアの関わりについて最近研究しており、しかも、いちばんの専門がヤングアダルト（以下YA）サービスということで、なかなかマイナーではありますが、それで今日呼んでいただいたかと思うので、ちょっとその広い観点からお話をしたいと思います。

今日のご報告の中では3つあるうち、報告1が中学生、報告3が10代ということで、珍しくYA比率が高い報告です。いつもYAがもっとも少ないのです。

まず、図書館がぶれていますね。ティーンズって言うてみたり、ヤングって言うてみたり、10代って言うてみたり、統一されていません。その設定がはっきりしておらず、同じホームページの中でも統一がないです。

ボランティアも図書館や地域のホームページをよくご覧になるかと思います。ですが、今日ご報告いただいたグループについても、図書館のサイトで検索してもできません。ボランティアの活動について、図書館のホームページにはでてないのはなぜなのかと思います。

また、ホームページのデザインが今ひとつ面白くないです。大阪市立図書館のトップページでもYAのサイトを探してみようかと、スクロールし

ていくと、左側に、障がい者サービス・ボランティア・学校支援などがあります。右側のフレームに、まちかど号と OneBookOneOSAKA とともにティーンズのページがあります。さらにここのパナーだけかと思うと、読書推進活動の中にティーンズのページがあります。非常にデザイン的にも見にくいわけです。さらに、こどものページがありません。YA イコール読書だけでないのに読書の中に埋もれていて、さらに前はこの下に学校支援のサイトという括りがあったと思いますが、それがなくなって、左側にあったりして、対象別なのか、団体を対象にしたサービスなのか、デザインとしてもわかりにくいです。図書館は情報発信の拠点なのに、その情報発信が下手では、残念ながら響きません。

図書館とボランティア、学校との三者の連携が見えないのです。今日の発表のなかでも、どんな立場とか、どんな位置付けでどう関わっていくか、具体的な報告がありませんでした。あまり繋がってないのか、ウェブ上でも存在が確認できません。それぞれが頑張っている感じです。

と言うのも、私は 2003 年度から大阪市立の学校の先生を対象にした司書教諭講習の講師を務めさせていただいています。70~80 人の現職の大阪市の小中高の先生が受講されます。そこで私が、たとえば、読書の話をする、学校の先生は子どもの読書活動推進に関する法律も、子ども読書の日も知りません。子ども読書の日には関係団体や事業者が趣旨にふさわしいイベントなどを実施するようにということが法律で決められていても、学校ではされていません。図書館ではどうですか？気付かれてないし、知られていません。文字活字文化振興法も同様で、文字・文字文化の日の 10 月 27 日は読書週間が始まる日、読書週間は秋にある程度しか知りません。さらに図書館で、学校向きの「図書館利用の手引き」を作成し、校長会で配布されていますが、校長先生は下に降ろしていません。毎年約 80 名ぐらいの先生方に対して「利用の手引きがあるのを知っていますか？学力

向上ラインに図書館ラインがあるのを知っていますか？」と聞いても知っているのは 3~4 人ぐらいです。子ども読書の日よりはちょっと知られているぐらいです。図書館の発信している情報が行き渡らず、ボランティアは報告会とか勉強会とか研修会までやって図書館と関わっているのに、うまく噛み合っていないのです。それぞれがスタンドアローンで頑張っている感じなので非常にもったいないと思うわけです。これだけそれぞれはやっているのだから、もう少しうまく連携を取って、情報の共有ができないかと思います。

今日の発表の中で私が面白いなと思ったのは、書評漫オグランプリです。これはほんとに大阪だから成立していると思います。ビブリオバトルはいろいろな図書館が行おうとしています、人が集まりません。プレゼンターが集まらないのです。みんなちょっと興味があつて見にきたりはします。大阪の場合は広報をすごく頑張ったという報告がありました、ちゃんと小学生から高校生まで参加して盛り上がっているのがいいと思いました。ただ、ホームページの紹介動画のダウンロードがとて遅いです。せっかく本を取り上げているのに、画像が粗くて、書名も見えません。動画を流すのなら、背景に書影を出したり、プロジェクターで「今この本やっていますよ」という情報を流したり、今このコンビが紹介している本についての文字情報をちゃんと見切ることができる形で入れるだけでも繋がると思います。本の情報をインプットしないともったいないです。

ビブリオバトル系の非常に面白い事例を間接的ですけど見たことがあります。YA サービスの海外の事例を知る目的で、IFLA 国際図書館連盟が主催している大会が毎年開催されます。デンマークやスウェーデンに行くと驚くのが、ビブリオバトルのようなイベントを、本だけでなく、YA 自身がその本に関係する衣装・アイテムを持ってきたり、自分もなりきって自分でスライドを作ったり、音楽を流したり、あらゆるメディアで紹介してバトルするというようなことをやっています。

北欧は夜が長くて冬が長く、家の中でいかに楽しく過ごすかということで、複数のメディアを限りなく楽しんでいきます。大阪もこのように押していくといいのではないかと思います。

皆さん、SLA（全国学校図書館協議会）と毎日新聞が毎年読書調査を行っているのをご存知でしょうか。学校読書調査が『学校図書館』の毎年11月号に掲載されます。小学校4年生から高校3年生までの9学年男女別に、読んだ本の冊数やどんな本や雑誌を読んだかなどの調査をしています。その今年分の調査はまだ報告されていないので、昨年11月調査を最新として見ると、中高生の読んだ本はメディアミックス作品ばかりです。メディアには垣根がありません。高校生は音楽を楽しんでいるという報告がありますが、音楽の歌詞から世界観を膨らませて、小説になっているのをご存知ですか。そのような作品が高校生ではランクインしています。それから、アニメ化されているライトノベルというのが非常に多くランクインしています。女子はおませなのか、有川浩が大好きで、映像化されているものなら「こんな重たいもの読むか」と思うような『八日目の蟬』などもランクインします。『告白』や東野圭吾作品も読んでいます。特に図書館現場の方は、この辺が人気だと思って意識はあると思いますが、なぜ人気なのかという分析をしたことがあるかということをお尋ねしたいです。

この全国学校図書館協議会の先ほどの調査では、毎年違う付帯調査があって、2010年には読書に対する意識調査というのを行っています。そこで、「読書を好きな人をどう思うか」と聞いています。「頭がよい」とか、「まじめ」とかが1位2位にきます。次に小学生だと「頼りになる」です。ところが中高生の実態では、「暗い」です。「本好きなやつは暗くてイケてない」と思われてます。また、子どもたちに「どうすれば今よりもっと自分は本を読むようになりますか」という質問をしていますが、中高生の1位の回答が衝撃です。図書館の皆さん、心して聞いてください。1位は「値段を

安くする」です。つまり中高生は、「本は買って読むものだ」と思っているのです。図書館はタダだし、学校図書館もあるし、公立図書館も地域にあるにもかかわらずです。「タダですよ」というアピールをなぜしないのでしょうか。目立つ宣伝をしていただきたいです。

YAは、YAだけで基本ネットでつながっていて、大人・図書館・学校・地域が繋がれてない現状がはっきりわかります。YAサービスの読書を考えるときは、メディアとの関わりとか、彼・彼女たちの興味とか関心とかについてももう少し知っていただくと違ってくるのではと思います。

少し長くなりましたが、以上です。ありがとうございました。

佐阪陽子（大阪市 PTA 協議会研修委員長）

皆さまが日々、小学校や幼稚園や保育所へ出向いていただいて、愛情こもるひとときを作ってくださいに、心からお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

私は小学校今6年生の3番目の子がいるのですが、この子の入学時に、小学校の図書館ボランティアに所属し、クラスで読み聞かせをして、楽しく、またちょっと汗をかきながらの時を過ごしています。最近はそのPTAの応援ばかりしてしまって、図書館の読み聞かせのほうがおろそかになり、本当にみなさんには申し訳ないのですが、ここにいらっしゃる皆さま、また皆さまの区に所属しておられる方々の愛情と情熱に支えられ、この事業に深く深く感じている次第です。今日も朝から天気も良くないなか、皆さんが集まって、このような真剣な討議をしてくださって、心から感動しております。先ほど事例報告をしてくださった学校のみなさま、また図書館の関係者の方々も長くご準備いただいて、この素晴らしい成果に繋げてくださっていることに、感謝をするとともに、すべての地域でも、それぞれの地域の状況に合わせた心をこめた施策をしてくださっていると思っております。

私自身は子どものときに、クラスで2番目くらいにおとなしくて、雨の日などクラスの中の学級文庫の本を読んで、その本の中の世界で静かに癒されているおとなしい子でしたが、最近ではマイクを持ってしゃべることも平気になってまいりました。いろいろな子がいると思います。私のようにおとなしいタイプの子がいれば、サッカーやバレーボールなどどんどん外に出てきて、本読むのは鬱陶しいような子もいるかもしれません。それぞれの子がそれぞれの人生の可能性を持っているなかに、本の力というのはまたいろいろ可能性を秘めているのではないかと思います。

皆様がこうやって事業をスタートされてから、長く活動されている方も、短い方もいらっしゃると思います。立ち上げた当初は多くの方が大変情熱を持って、力を寄せてくださったと思います。継続していく中でさまざまな課題が見えてきます。相性の問題という一言で、どう乗り越えていったらいいのかというような場面もあります。最近では資金の課題が大きく皆さまの肩にのしかかっている場合もあると思います。それぞれのご家庭と皆さまのお身体の健康の点に関しては、どうかご無理をなさらないで、皆さま方がいつも笑顔で取り組んでくださいますようお願いいたします。子どもたちのこれからの人生で言葉の力が、生きる力となって沁み込んでいくことは間違いないと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

柳本真知子（大阪市生涯学習推進員協議会運営委員長）

子どもたちが本を読むことで、さまざまな世界との出会いがあり、自分で考える力、解決する力が大切だと思っています。そのためには図書館の本が大事です。子どもたちが接した本によって、本は楽しいもっと読みたいと思う本に出会うことが、さらに読書に親しむという方向性に行ったらいいなと思います。今日、3つの報告を聞かせていただきまして、本当に素晴らしい活動をされて

おられます。そのためにはみなさんの活動も大切ですし、また保護者が子どもたちにどのように接するかということも大切です。各小学校にあります生涯学習ルーム事業で、私たちがやっていることには、地域連携支援事業やはぐくみネットなどがあり、他の事業との連携した取り組みも広がっています。同じ学校を拠点とする学校図書館活性化事業との連携も今後さらに強めていきたい、いけたらなと思っています。私たち生涯学習推進員とボランティアのみなさんと一緒にできることがあれば、協力していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

吉田典子（大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長）

3つの報告を聞かせていただいて、テレビで『日本むかしばなし』ってありましたね、子どもたちと毎週楽しみに観ていたんですけど、根本はそこかなという気がしました。どのお話を聞かせていただいても、なにか心の底から、ほわんとするような、それが大事なのかなという気はします。

私たち生涯学習推進員でも同じように図書ボランティアの方々とコラボさせていただきまして、合間で読み聞かせをしていただいたり、学校では折り紙なども一緒にやってみたりと、いろいろさせていただいています。昔と違って、最近では子どもたちから「図書館で本借りてきたよ」と、よく耳にします。中学校の先生のお話を聞かせていただいても、やはり本を借りる回数が増えたように思っています。これからも私たち生涯学習推進員たちも一緒にどんどんコラボしていけたらなと思います。今日はどうもありがとうございました。

磯中ミツ子（大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長）

3つの事例発表のなかの感じたことをお話させていただきたいと思います。上町中学校の発表には学校元気アップ事業を通して、言語力育成、学習活動支援を目標に学校図書館を開放して、読み

語りを呼び掛けたところ、4年目を迎えた今現在も20人以上も参加しているということです。その中で感じたことは、子どもに何かを伝えようとする強い気持ちが子どもの心を動かすことに繋がることだと思います。そんな強い愛情を持って、これからもまた頑張っていきたいと思いました。「パンジーおはなし会」のグループが、ジュニアによるお話の会を立ち上げたということは素晴らしいことだと思います。子どもの成長にも役立っていて、私も何かこういうことができたらいと感じました。また、書評漫才グランプリの取り組みは、本を話題にした漫才の面白い取り組みだと思います。本の読み聞かせも、本に親しむこと、継続することが大事だと感じております。

本当に今日はありがとうございました。以上でございます。

事務局（図書館）

先ほどボランティアページについて村木先生から厳しいご意見をいただきましたので補足します。図書館のホームページの中に「ボランティアページ」を6月、つい最近開設したばかりです。今のところは図書館から発信するボランティア講座などの情報が主になっているのですが、いずれこのページを充実していく計画で来年度に向けて準備をしています。例えば、ボランティア専用のページを作って、その情報を見ていただけたら、いろんな各区のボランティアの紹介とか、そのようなページを作っていきたいと考えております。

その他、各区の図書館のページでの情報発信もできることから工夫していきたいと考えております。また、ボランティアの皆さまにご意見をうかがいながらページの充実を図っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

第2次大阪市子ども読書活動推進計画(概要)

平成18～23年度(第1次計画期間中)

取組み・成果

乳幼児期

- ・子育て支援施設でのブックスタート事業実施により、施設利用者が増加
- ・子育て支援のネットワークと図書館の連携が拡充し、子育て支援施設での読書活動が拡大

学校

- ・全小・中学校で「朝の読書」などの一斉読書の取組みを実施
- ・全小中学校で「学校図書館活性化事業」を実施し、開館回数が増加
- ・中学校で「学校元気アップ地域本部事業」により、実施校では「全く読まない」生徒が減少(平成25年度全校実施予定)
- ・学校図書館で活動するボランティアが増え、学校図書館の活性化が進む
- ・12学級以上の学校に司書教諭を配置し、スキルアップ講習を実施

図書館

- ・調べ学習などに使用する図書の団体貸出等、学校と市立図書館の連携が拡充
- ・児童書の充実、子ども向け事業の拡大等により、児童書の貸出冊数が増大
- ・読書離れが進む13～19歳に向けホームページ上に「ティーンズのページ」

新設

学校、家庭、地域、図書館の

連携・協力

- ・ボランティアグループの代表、区役所や子育て支援施設職員、教員等が参加し、子どもの読書活動について情報交換を行い、連携・協力が進む

課題

- ・ブックスタート事業参加者数の伸び悩み
- ・「読書が好き」と答える児童・生徒の数が少しずつ増えてきたが、全国との差が大きい
- ・昼休みや放課後、休みの日に図書館を利用する頻度が全国平均に比べ低い
- ・7～12歳の市立図書館の利用は増加しているが、13～19歳では減少しており、読書習慣の定着に課題
- ・ボランティアの継続や人数確保に課題がある学校がある

指標

- ・子育て支援施設での読み聞かせ 97か所⇒105か所
- ・学校図書館(小学校)の週当たり開館回数の増加 4.2回⇒5回
- ・「読書が好き」な児童・生徒の割合⇒全国平均に
- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に学校図書館・図書室や地域の図書館を利用しない児童・生徒の割合⇒全国平均に
- ・市立図書館から小・中学校への団体貸出 52,424冊⇒60,000冊以上
- ・市立図書館における13歳～19歳の年度利用者数 18,962人⇒22,000人
- ・市立図書館における児童書の貸出冊数 2,703,476冊⇒2,800,000冊
- ・「ティーンズのページ」アクセス数の増加 6,346件⇒10,000件以上
- ・読書支援活動ボランティア数 2,433人⇒2,500人以上
- ・「子どもの読書活動推進連絡会」の開催 ⇒大阪市、各区1回以上開催

今後の取組み

- ・「ブックスタート事業」について、各区の実情を踏まえた実施方法を検討する
- ・子育て支援施設での読み聞かせ等を継続し、保護者と子どもが身近に本に親しめる場を提供する
- ・学校図書館を計画的に活用して、読解力や記述力を培い、言語力の向上を目指す
- ・学校と市立図書館の連携を拡充し、学校のICT環境に合わせた図書館サービスの活用を検討する
- ・市立図書館は、さまざまなニーズに対応し、子どもが読書を楽しめる環境づくりに努める
- ・「図書館活用の手引き」に「ティーンズのページ」や電子書籍等新しいサービスを紹介し、中・高等学校での市立図書館サービスの活用を図る
- ・市立図書館でボランティア講座を継続実施し、様々な場で活動するボランティアの交流を拡大
- ・各区、大阪市全体「子どもの読書活動推進連絡会」を開催し、様々な立場で子どもの読書活動推進にかかわる施設・人をつなぎ、連携・協力の拡充を目指す

子どものための施設ガイド

タッチ

TOUCH 2014 EDITION

いろいろな施設に

どかけんみそやー!



学校のことや友だちのことで悩みがある人は相談してね!

こども相談センター	電話教育相談 こども専用	TEL 4301-3140 FAX 6944-2064	月～金 9:00～19:00 (祝日・年末年始を除く)
	電話教育相談 保護者専用	TEL 4301-3141 FAX 6944-2064	月～金 9:00～19:00 (祝日・年末年始を除く)
	メール教育相談	24時間対応 不登校でいじめなどの悩みについて、パソコンなどから電子メールでの相談をお受けしています。 大阪市子ども青少年局ホームページから「メール教育相談」のバナーをクリックして入力できます。	相談の返答は5日程度(土・日・祝日・年末年始を除く)がかかります。
24時間電話教育相談		5ちゃんおひつ TEL 0570-0-78310	年中無休 24時間対応 ※一部のIP電話、PHSからはつながりませんので、電話教育相談にかけてください。

すくすくかんさい

 まいどでもカード
<http://www.maidokodemo.jp>

シンボルマーク(携帯電話画面など)を提示することで、割引・特典などのサービスが受けられます。16歳未満のお子様のいる世帯の方ならなたたでも登録できます。

お問い合わせ先は **大阪府子育て世帯応援事務局**
TEL 06-4803-2239 (10:00～17:00 土・日・祭・年末年始を除く)

各種サービス概要
 各区区長の他等は
 各区区長のホームページ

家庭教育に関する情報はコチラから

大阪府子育て世帯応援事務局	子育て世帯の応援サイト
子育ていろいろ	親カアアップサイト
社会総がかりでこどもを育む情報サイト	小学校区教育協議会—はくみネット—
社会総がかりでこどもを育む	はくみネット
大阪府教育委員会	大阪府生涯学習情報サイト
大阪府教育委員会	いちようネット

タッチ
 お互いの
 人権守って
 明るい社会
 OSAKA

お問い合わせ
 大阪府教育委員会 生涯学習担当
 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20 TEL 6208-9086 FAX 6202-7054
 大阪府総合生涯学習センター(併設管理) 大阪府教育福祉公社・SPS共同(事業体)
 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 TEL 6345-5020 FAX 6345-5019

発行/大阪府教育委員会 平成26年4月28日

すべての子どもたちが 読書に親しめる 環境整備を図ります



大阪府では、「第2次大阪府子ども読書活動推進計画」にもとづいて、すべての子どもたちが読書に親しめる環境整備を進め、さまざまな活動を展開しています。



イベント開催

図書館では、絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇など、子どもたちが本や物語に親しむきっかけづくりとなるイベントを随時開催しています。

調べもの

図書館へ行けば、学校の課題や日頃のちよつとした疑問に役立つ調べ物ができます。図書館のコンピュータ「オムリス」や自宅のインターネットからは、中央図書館、23の地域図書館の本を調べることができます。

探している本が見つからなかったり、どの本で調べればいいのかわからないときは気軽に図書館の職員に聞いてください。

こどもの本のおすすめリスト

こどものほんだな2014

各館にて無料で配布中です。



大阪市の図書館

大阪市立図書館 検索

開館時間 9:15~20:30 (土・日・祝・休日は17:00まで)
地域図書館 10:00~19:00 (土・日・祝・休日、7/21~8/31の月曜は17:00まで)
中央図書館 毎月第1・3木曜(祝・休日は閉館)・年末年始・蔵書点検期間
地域図書館 毎月第3木曜(祝・休日、7/21~8/31の月曜は閉館)・年末年始・蔵書点検期間

中央図書館	〒550-0014 (地下鉄南船場) 西区北堀江4-3-2	☎6539-3300	FAX 6539-3335
北図書館	〒531-0074 (市バス天神橋八丁目) 北区本庄東3-8-2	☎6375-0410	FAX 6371-3177
都島図書館	〒534-0027 (市バス都島区役所前) 都島区中野町2-16-25	☎6354-3229	FAX 6354-7822
福島図書館	〒553-0006 (地下鉄南船場、阪神都島) 福島区吉野3-17-23	☎6468-2336	FAX 6468-5191
此花図書館	〒554-0014 (阪神千里橋) 此花区四貫島1-1-18	☎6463-3463	FAX 6463-9688
島之内図書館	〒542-0082 (地下鉄長瀬橋) 中央区島之内2-12-31	☎6211-3645	FAX 6212-5449
港図書館	〒552-0007 (地下鉄・JR弁天町) 港区弁天2-1-5	☎6576-2346	FAX 6571-7915
大正図書館	〒551-0003 (市バス大正区役所前) 大正区千歳2-6-15	☎6552-1116	FAX 6551-9362
天王寺図書館	〒543-0037 (市バス天王寺駅前、京阪天王寺橋) 天王寺区上之宮町4-47	☎6771-2840	FAX 6771-3801
浪速図書館	〒556-0015 (地下鉄大田町) 浪速区難波西1-5-23	☎6632-4946	FAX 6632-4973
西淀川図書館	〒555-0012 (JR御前島) 西淀川区御前島1-2-10	☎6474-7900	FAX 6477-0463
淀川図書館	〒532-0025 (環島十三) 淀川区新北野1-10-14	☎6305-2346	FAX 6305-9129
東淀川図書館	〒533-0023 (船場渡船) 東淀川区東渡路1-4-53	☎6323-5476	FAX 6323-1738
東成図書館	〒537-0014 (地下鉄少路) 東成区大少路西3-2-17	☎6972-0727	FAX 6972-0278
生野図書館	〒544-0021 (市バス大池橋) 生野区駒山南4-7-11	☎6717-2381	FAX 6717-3119
旭図書館	〒535-0003 (市バス旭区役所前、タカノ一) 旭区中野1-11-14	☎6955-0307	FAX 6955-0287
城東図書館*	〒536-0017 (地下鉄東野) 城東区新書多摩1-1-7	☎6963-5680	FAX 6963-5688
鶴見図書館	〒538-0052 (地下鉄鶴見) 鶴見区鶴見5-3-15	☎6913-0772	FAX 6913-3975
阿倍野図書館	〒545-0052 (地下鉄阿倍野) 阿倍野区阿倍野筋4-19-118	☎6656-1009	FAX 6656-1043
住之江図書館	〒559-0015 (地下鉄住之江公園) 住之江区南加賀島3-1-20	☎6683-2788	FAX 6683-8840
住吉図書館	〒558-0041 (南港駅/町) 住吉区南住吉3-15-57	☎6606-4946	FAX 6606-6987
東住吉図書館	〒546-0032 (市バス東住吉区役所前) 東住吉区東田辺2-11-28	☎6699-7000	FAX 6699-3222
平野図書館	〒547-0043 (JR東・平野、市バス平野一丁目) 平野区平野東1-8-2	☎6793-0881	FAX 6791-5038
西成図書館	〒557-0041 (地下鉄岸里) 西成区岸里1-1-50	☎6659-2346	FAX 6659-8599

平成24年度学校図書館活性化事業最終報告

調査月：平成25年3月

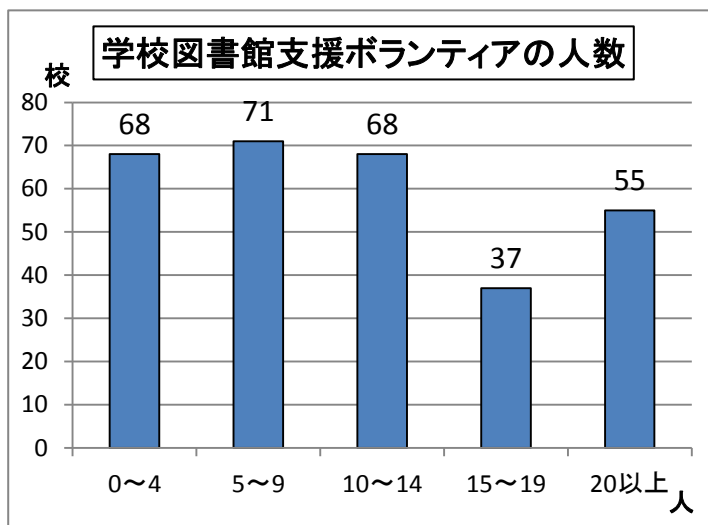
対象：大阪市立全小学校299校（郊外校を含む）

1. 学校図書館支援ボランティアの人数

ボランティア人数合計	3482名
1校あたり平均	11.6名

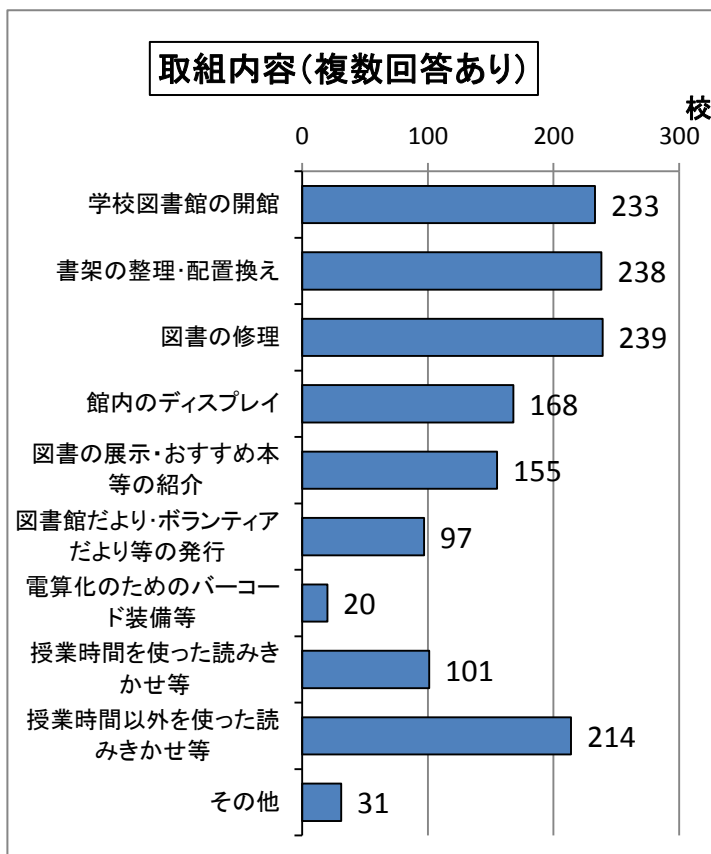
ボランティア人数(名)

0～4	68校
5～9	71校
10～14	68校
15～19	37校
20以上	55校



2. 取組内容(複数回答あり)

学校図書館の開館	233校
書架の整理・配置換え	238校
図書の修理	239校
館内のディスプレイ	168校
図書の展示・おすすめ本等の紹介	155校
図書館だより・ボランティアだより等の発行	97校
電算化のためのバーコード装備等	20校
授業時間を使った読みきかせ等	101校
授業時間以外を使った読みきかせ等	214校
その他	31校

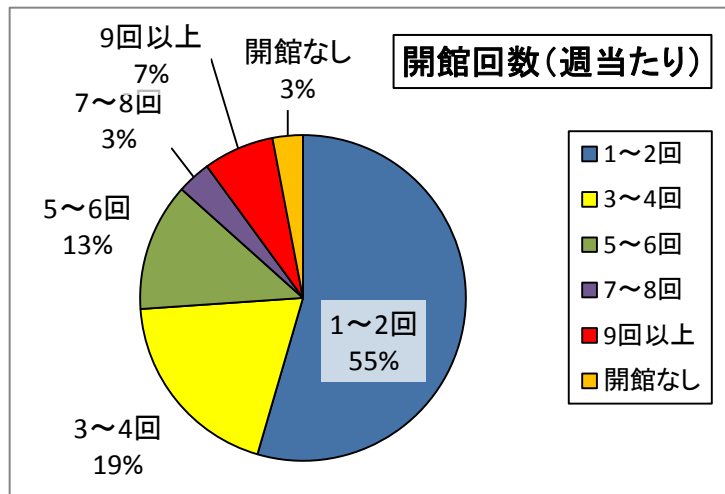


3-1. 授業時間以外の開館状況(全体)

開館回数(週当たり)

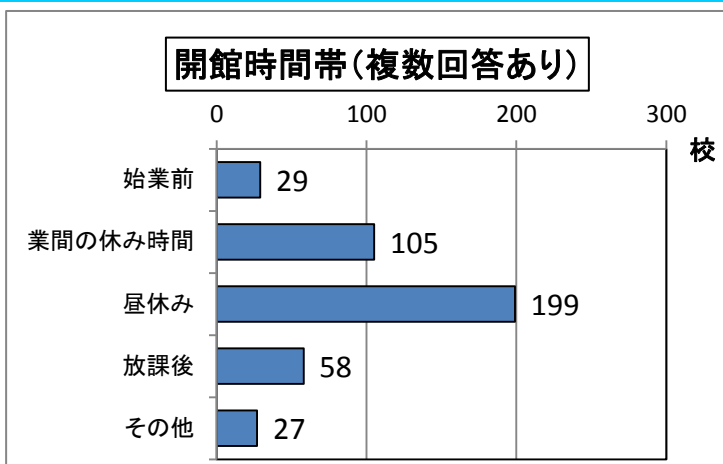
合計	1122 回
平均	3.8 回

1~2回	163 校
3~4回	58 校
5~6回	38 校
7~8回	10 校
9回以上	21 校
開館なし	9 校



開館時間帯(複数回答あり)

始業前	29 校
業間の休み時間	105 校
昼休み	199 校
放課後	58 校
その他	27 校



3-2. 授業時間以外の開館状況(ボランティアによる開館状況)

開館にボランティアが関わっている	172 校
開館にボランティアが関わっていない	119 校

※授業時間以外に開館している291校の回答

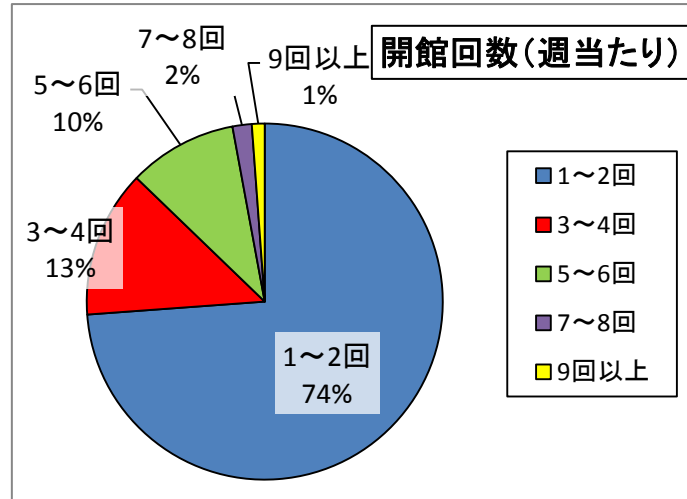
開館回数(週当たり)

合計	338 回
平均	2.0 回

※開館にボランティアが関わっている172校の回答

1~2回	127 校
3~4回	23 校
5~6回	17 校
7~8回	3 校
9回以上	2 校

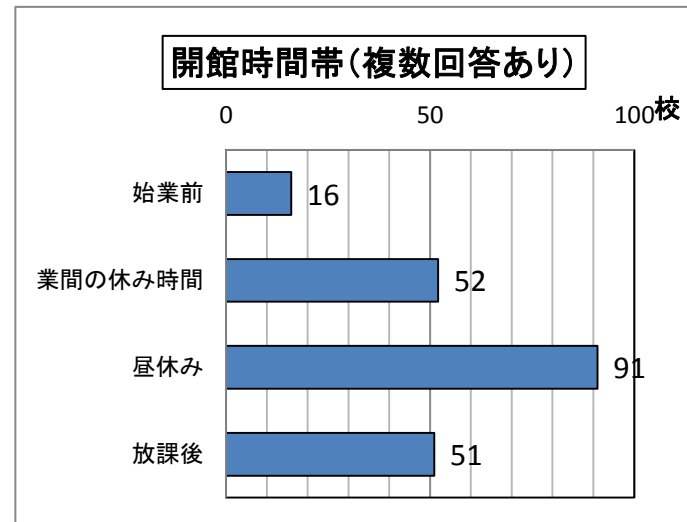
※開館にボランティアが関わっている172校の回答



開館時間帯(複数回答あり)

始業前	16 校
業間の休み時間	52 校
昼休み	91 校
放課後	51 校

※開館にボランティアが関わっている172校の回答



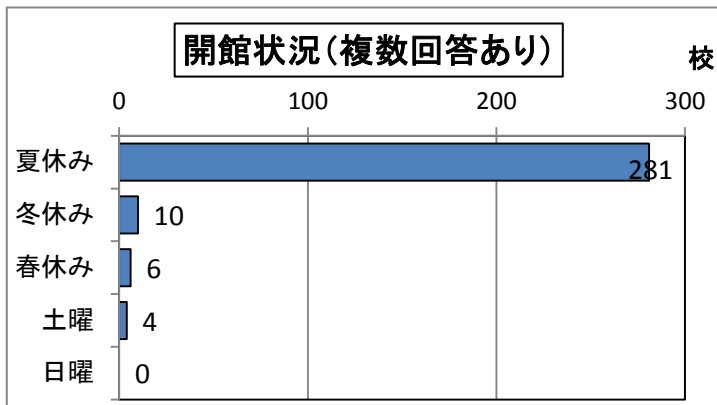
4-1. 課業外の開館状況(全体)

開館した	281 校
開館しなかった	18 校

開館状況(複数回答あり)

夏休み	281 校
冬休み	10 校
春休み	6 校
土曜	4 校
日曜	0 校

※開館した281校の回答

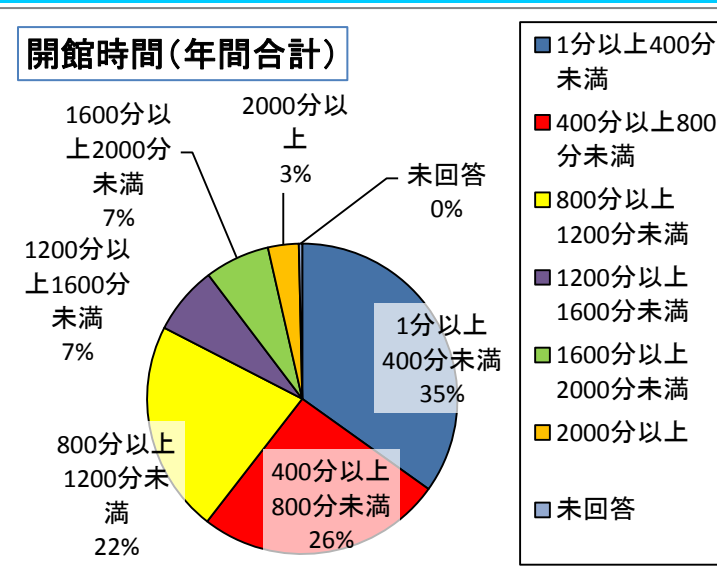


開館時間(年間合計)

合計	208567 分
平均	742.2 分

※開館した281校の回答

1分以上400分未満	98 校
400分以上800分未満	72 校
800分以上1200分未満	62 校
1200分以上1600分未満	20 校
1600分以上2000分未満	19 校
2000分以上	9 校
未回答	1 校

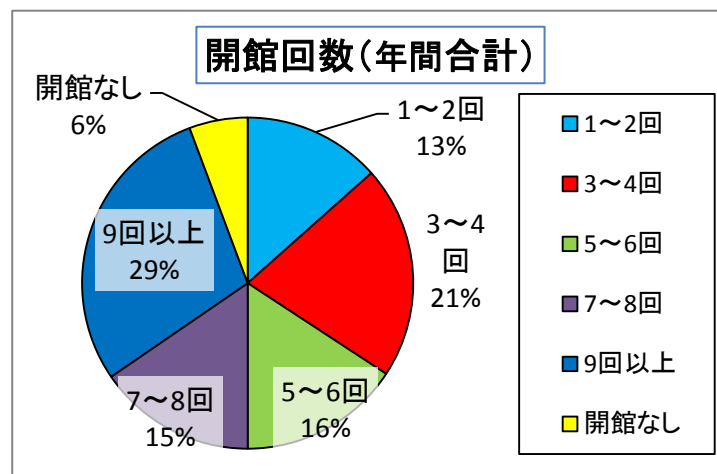


開館回数(年間合計)

合計	1796 回
平均	6.3 回

※開館した281校の回答

1~2回	40 校
3~4回	62 校
5~6回	47 校
7~8回	46 校
9回以上	86 校
開館なし	17 校



4-2. 課業外の開館状況(ボランティアによる開館)

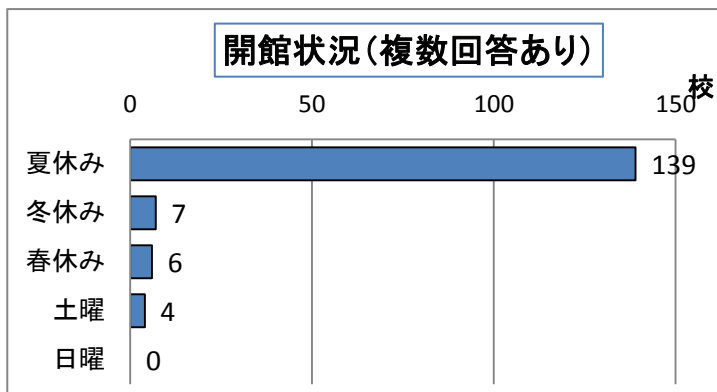
開館にボランティアが関わっている	142 校
開館にボランティアが関わっていない	139 校

※開館した281校の回答

開館状況(複数回答あり)

夏休み	139 校
冬休み	7 校
春休み	6 校
土曜	4 校
日曜	0 校

※開館にボランティアが関わっている142校の平均



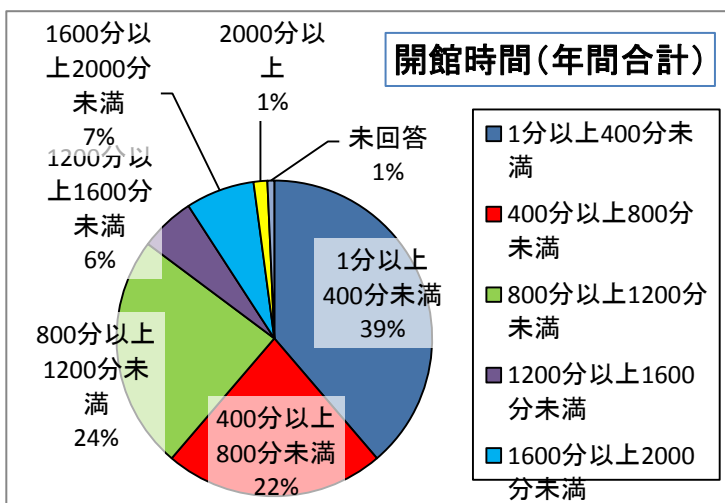
開館時間(年間合計)

合計	810 分
平均	5.7042 分

※開館にボランティアが関わっている142校の平均

1分以上400分未満	55 校
400分以上800分未満	32 校
800分以上1200分未満	34 校
1200分以上1600分未満	8 校
1600分以上2000分未満	10 校
2000分以上	2 校
未回答	1 校

※開館にボランティアが関わっている142校の平均



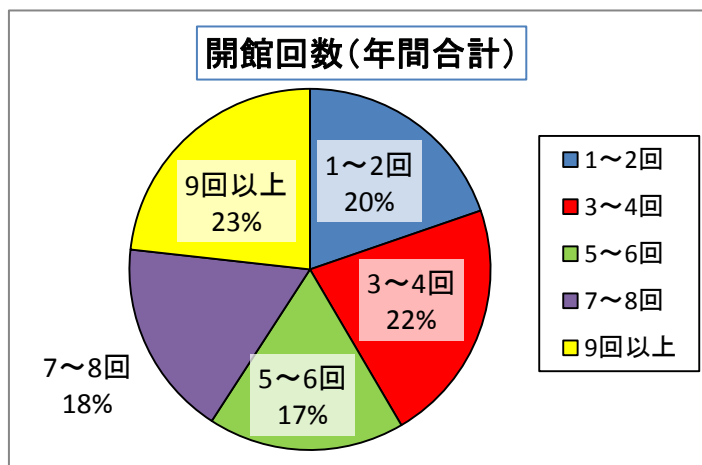
開館回数(年間合計)

合計	810 回
平均	5.7 回

※開館にボランティアが関わっている142校の平均

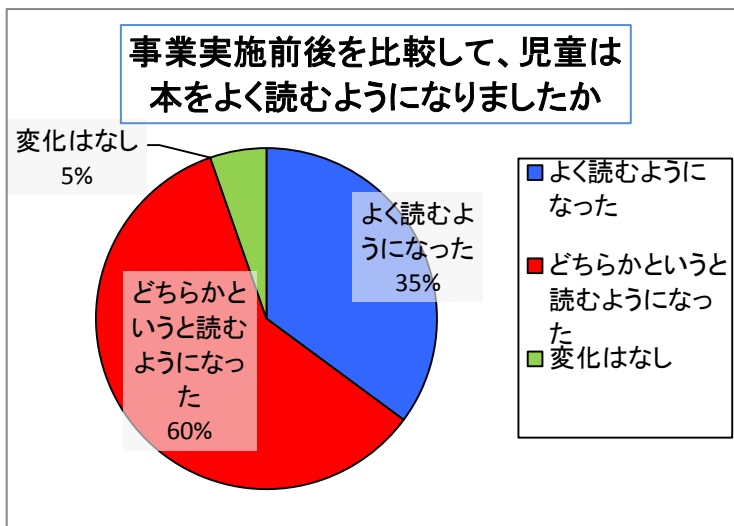
1~2回	28 校
3~4回	31 校
5~6回	25 校
7~8回	25 校
9回以上	33 校

※開館にボランティアが関わっている142校の平均



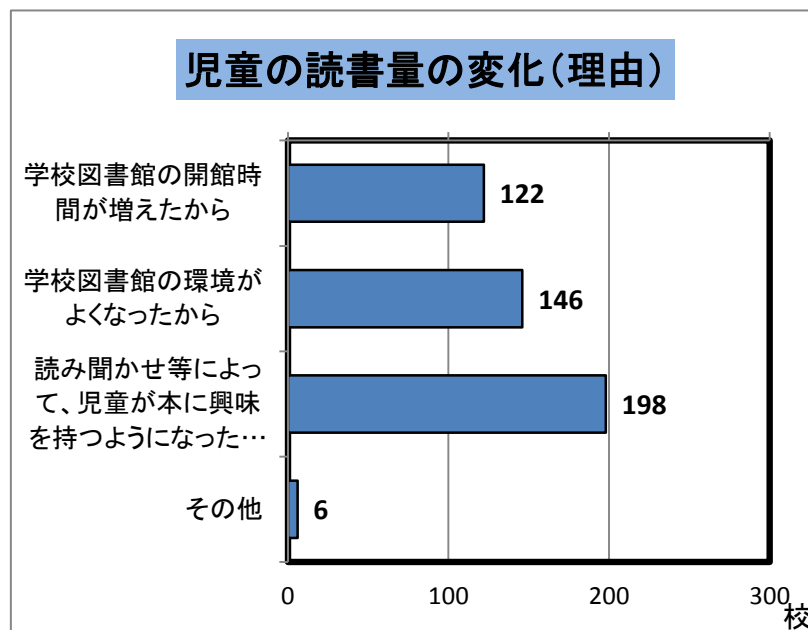
5. 事業実施前後を比較して、児童は本をよく読むようになりましたか。

よく読むようになった	105	校
どちらかという読むようになった	178	校
変化はなし	16	校



5-1. その理由(複数回答あり)

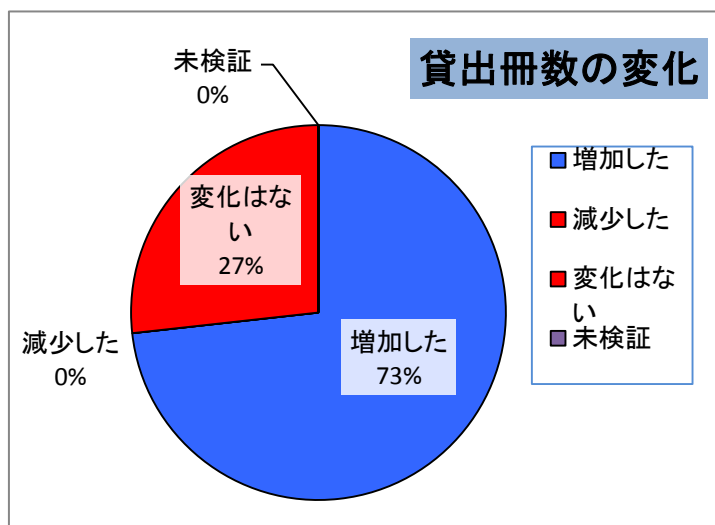
学校図書館の開館時間が増えたから	122	校
学校図書館の環境がよくなったから	146	校
読み聞かせ等によって、児童が本に興味を持つようになったから	198	校
その他	6	校



- 【その他の意見】
- 言語力の向上をテーマに校内研究に取り組んだ。
 - 人気がある本を丁寧に修理していた。
 - 読書の木・挿し絵の展示等の図書委員会の取組。
 - 朝読書の取り組みを充実させた。
 - お話し会、ボランティアによる読み聞かせの実施。
 - 地域図書館から各学級で1人1冊1ヶ月本を借りた。

6. 事業実施前後を比較して、学校図書館での貸出冊数は増加しましたか。

増加した	219 校
減少した	0 校
変化はない	80 校
未検証	0 校



平成25年度学校図書館活性化事業中間報告

調査月：平成25年11月

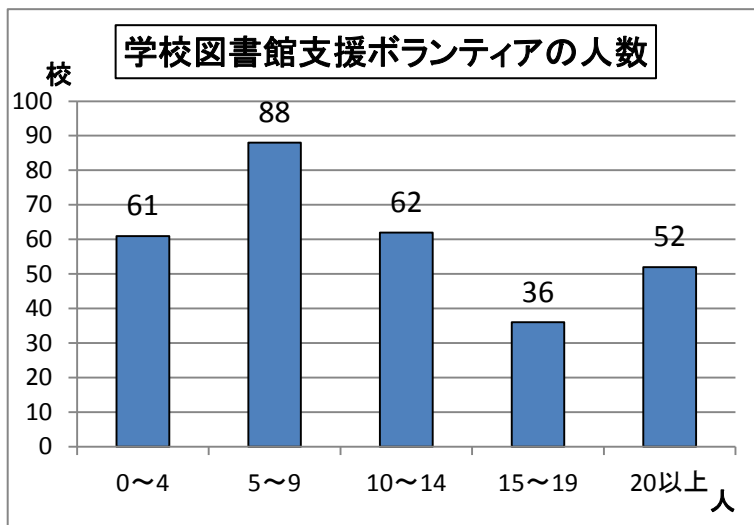
対象：大阪市立全小学校299校（郊外校を含む）

1. 学校図書館支援ボランティアの人数

ボランティア人数合計	3464名
1校あたり平均	11.6名

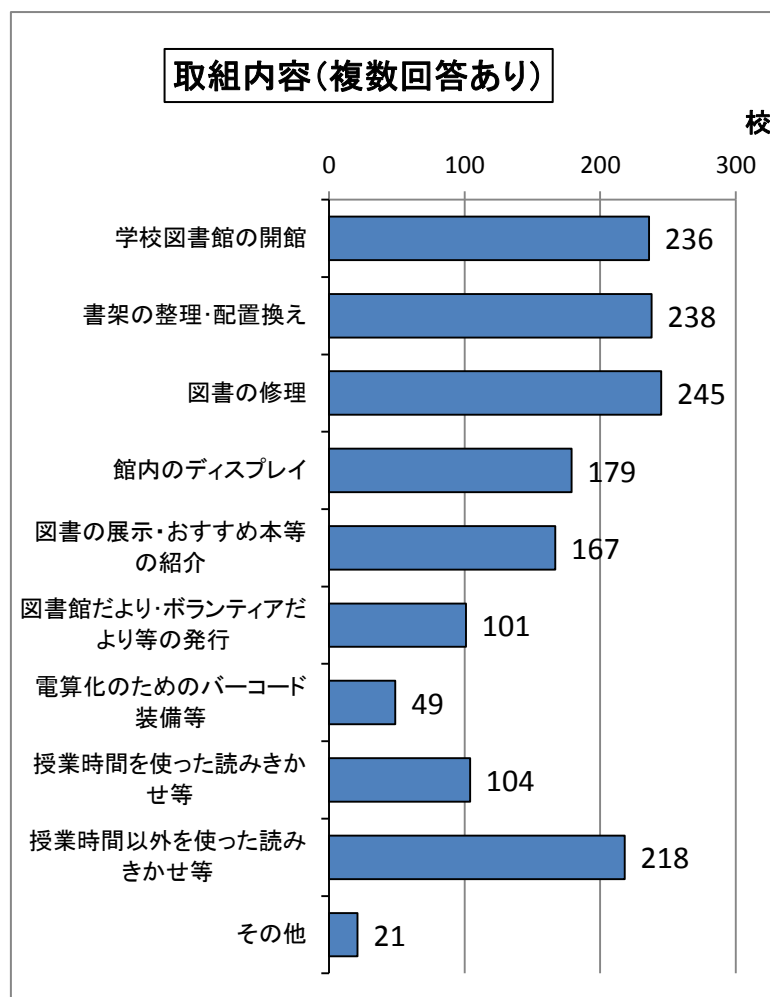
ボランティア人数(名)

0～4	61校
5～9	88校
10～14	62校
15～19	36校
20以上	52校



2. 取組内容(複数回答あり)

学校図書館の開館	236校
書架の整理・配置換え	238校
図書の修理	245校
館内のディスプレイ	179校
図書の展示・おすすめ本等の紹介	167校
図書館だより・ボランティアだより等の発行	101校
電算化のためのバーコード装備等	49校
授業時間を使った読みきかせ等	104校
授業時間以外を使った読みきかせ等	218校
その他	21校



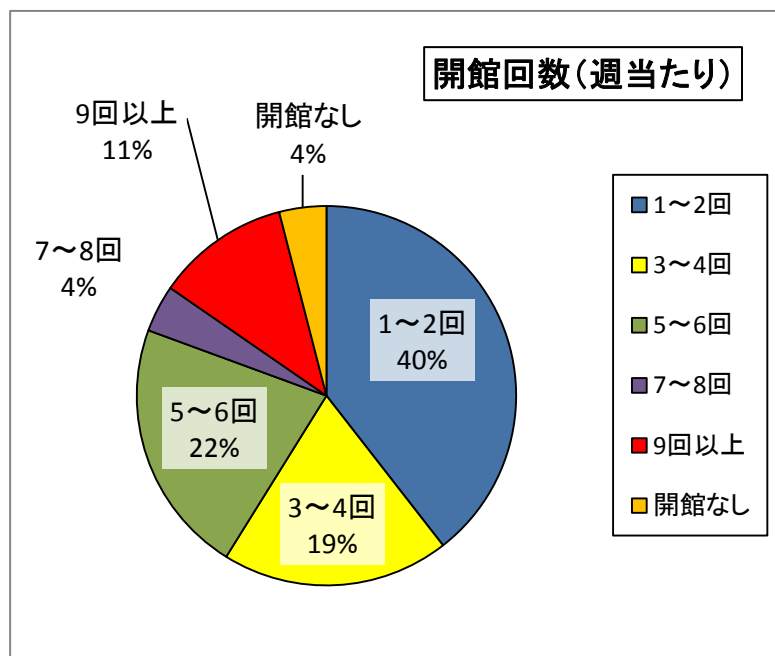
3-1. 授業時間以外の開館状況(全体)

開館回数(週当たり)

合計	1278 回
平均	4.5 回

※授業時間以外に開館している 287 校の平均

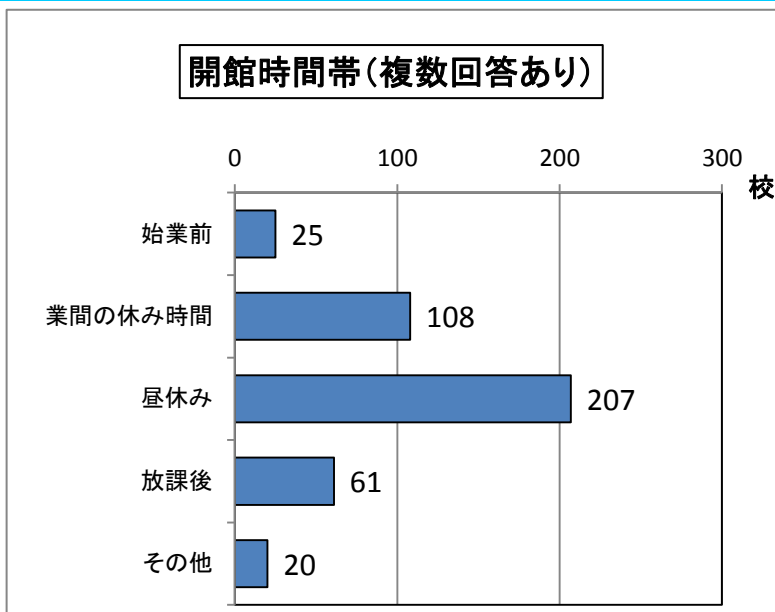
1~2回	118 校
3~4回	58 校
5~6回	65 校
7~8回	12 校
9回以上	34 校
開館なし	12 校



開館時間帯(複数回答あり)

始業前	25 校
業間の休み時間	108 校
昼休み	207 校
放課後	61 校
その他	20 校

※授業時間以外に開館している 287 校の回答



3-2. 授業時間以外の開館状況(ボランティアによる開館状況)

開館にボランティアが関わっている	134 校
開館にボランティアが関わっていない	153 校

※授業時間以外に開館している 287 校の回答

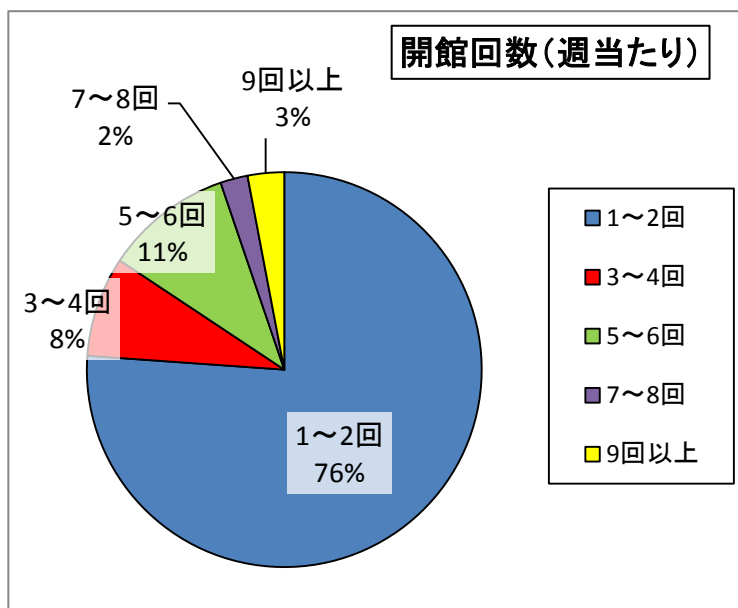
開館回数(週当たり)

合計	297 回
平均	2.2 回

※開館にボランティアが関わっている 134 校の平均

1~2回	102 校
3~4回	11 校
5~6回	14 校
7~8回	3 校
9回以上	4 校

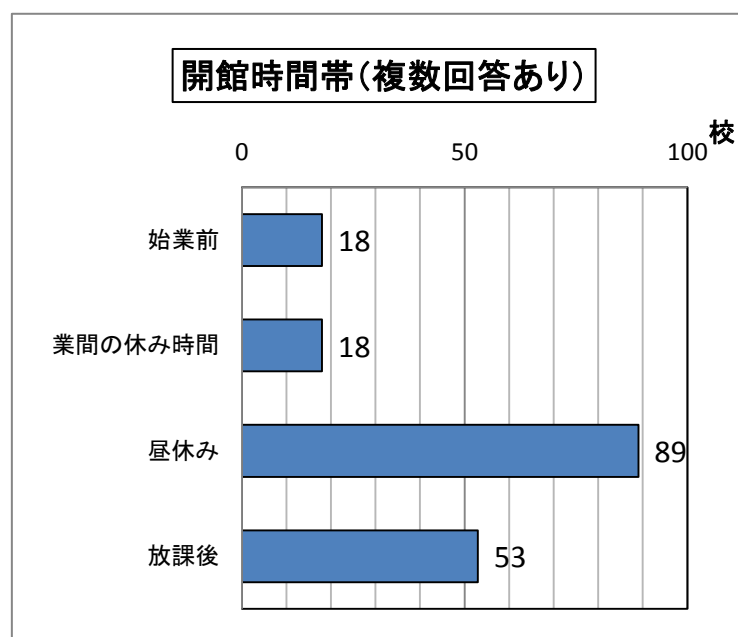
※開館にボランティアが関わっている 134 校の回答



開館時間帯(複数回答あり)

始業前	18 校
業間の休み時間	18 校
昼休み	89 校
放課後	53 校

※開館にボランティアが関わっている 134 校の回答



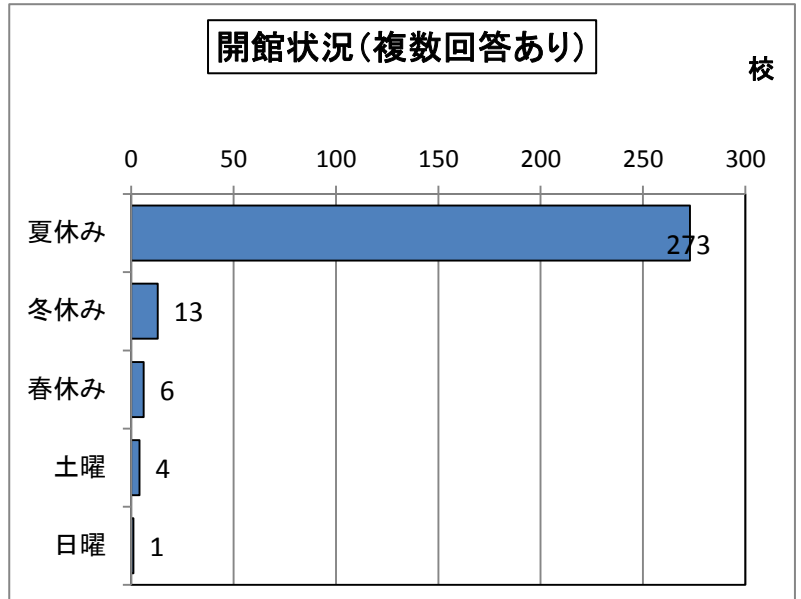
4-1. 課業外の開館状況(全体)

開館した(する予定)	274 校
開館しなかった	25 校

開館状況(複数回答あり)

夏休み	273 校
冬休み	13 校
春休み	6 校
土曜	4 校
日曜	1 校

※開館した(する予定)の 274 校の回答

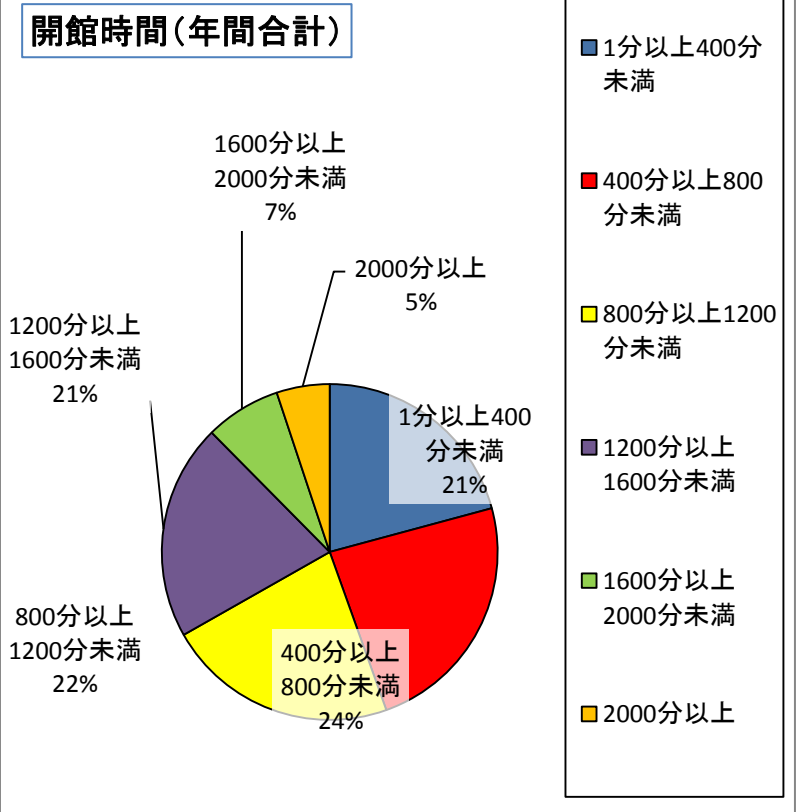


開館時間(年間合計)

合計	265380 分
平均	968.5 分

※開館した(する予定)の 274 校の平均

1分以上400分未満	57 校
400分以上800分未満	65 校
800分以上1200分未満	61 校
1200分以上1600分未満	57 校
1600分以上2000分未満	20 校
2000分以上	14 校



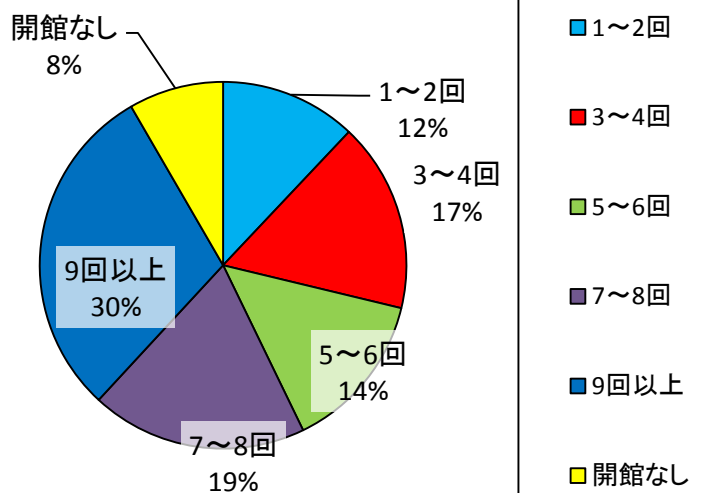
開館回数(年間合計)

合計	1940 回
平均	7.1 回

※開館した(する予定)の 274 校の平均

1～2回	36 校
3～4回	50 校
5～6回	42 校
7～8回	57 校
9回以上	89 校
開館なし	25 校

開館回数(年間合計)



4-2. 課業外の開館状況(ボランティアによる開館)

開館にボランティアが関わっている	149 校
開館にボランティアが関わっていない	125 校

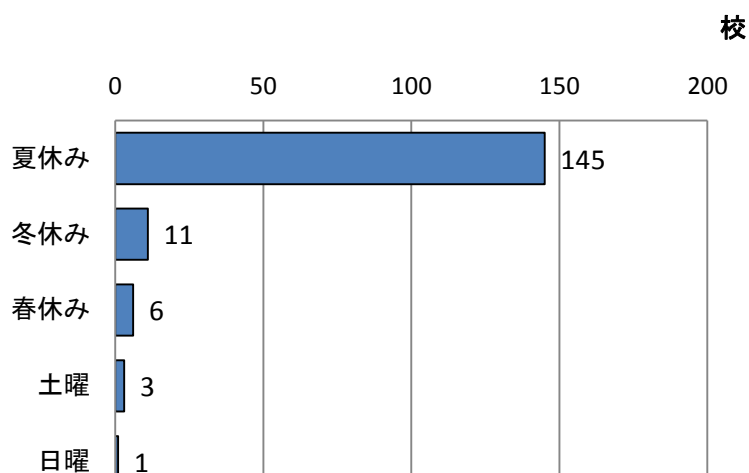
※開館した(する予定)の 274 校の回答

開館状況(複数回答あり)

夏休み	145 校
冬休み	11 校
春休み	6 校
土曜	3 校
日曜	1 校

※開館にボランティアが関わっている 149 校の回答

開館状況(複数回答あり)



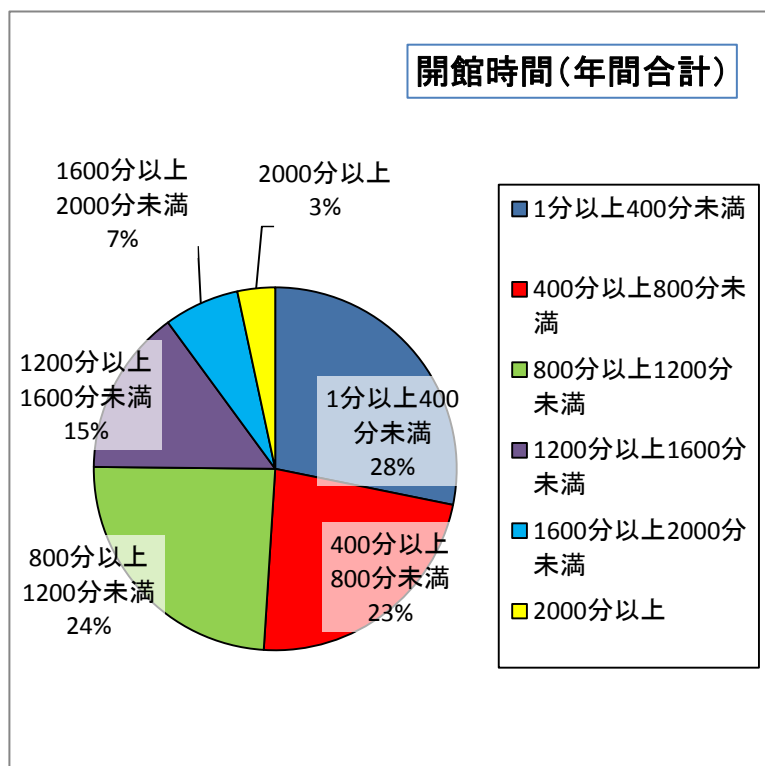
開館時間(年間合計)

合計	121965 分
平均	818.6 分

※開館にボランティアが関わっている 149 校の平均

1分以上400分未満	42 校
400分以上800分未満	34 校
800分以上1200分未満	36 校
1200分以上1600分未満	22 校
1600分以上2000分未満	10 校
2000分以上	5 校

※開館にボランティアが関わっている 149 校の回答



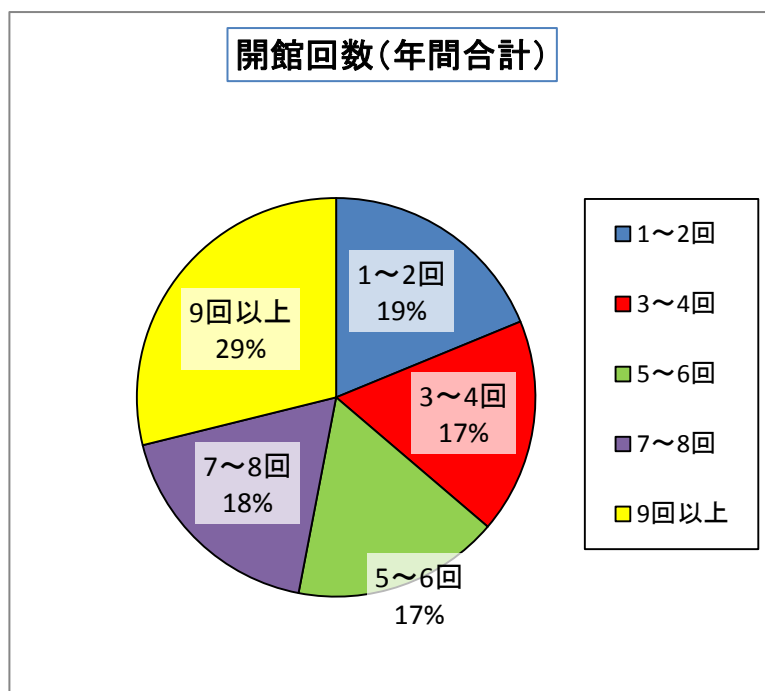
開館回数(年間合計)

合計	934 回
平均	6.3 回

※開館にボランティアが関わっている 149 校の平均

1~2回	28 校
3~4回	26 校
5~6回	25 校
7~8回	27 校
9回以上	43 校

※開館にボランティアが関わっている 149 校の回答



5. 学校図書館の蔵書管理の電算化

電算化をしている	74 校
電算化していない	225 校

電算化の開始時期

今年から	34 校
昨年から	15 校
3～5年前から	9 校
5年以上前から	9 校
未回答	7 校

市販のパッケージソフトの活用状況

市販のパッケージソフトの活用している	65 校
活用していない	9 校

	館内の催し(実施件数) (子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバル含まず)							子ども読書の記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)		幼児期読書環境整備事業						ブックスタート事業 (実施施設数)
	絵本の読み聞かせ	ストーリーテリング	紙芝居	人形劇	工作教室	おりがみ教室	乳幼児向けおたのしみ会	内容	参加者数	内容	参加者数	配本事業(実施施設数)			ボランティア派遣(実施施設数)			
												幼稚園	保育所	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	その他子育て支援施設	
中央図書館(西区)	156	11	13	0	1	0	23	こどもの本の50年をふりかえる	75	図書館たんけん隊!	78	6	4	0	4	2	0	4
										おはなしたのしいでえ! In大阪2012	4,041							
								春のおたのしみ会	81	One Book One OSAKA絵本展	1,214							
										「ニャーゴのやさしさ、ティラノのおもいやり」宮西達也講演会	210							
							えほんの時間 杭全、苅田北(自動車文庫)	25	えほんの時間 高松、白鷺、同心、北江口(自動車文庫)	56								
北図書館	38	0	0	0	1	0	9	はるのおたのしみかい	50	どんぐりんのラプリーシアター	12	4	4	2	4	2	2	3
都島図書館	34	12	1	1	1	0	12	おはなし影絵をたのしもう	31	-		1	7	2	1	2	0	3
福島図書館	62	1	0	1	1	0	10	ま〜るま〜るのびっくりばこ	63	絵本のひろば	51	3	8	0	2	8	0	2
此花図書館	23	0	12	1	12	0	9	春の子ども会	15	秋の子ども会	24	1	6	2	1	6	2	3
島之内図書館(中央区)	45	0	0	2	1	0	20	春の子ども会	46	工作教室「いたずらねこをつくろう」	30	7	3	0	7	3	1	3
港図書館	41	0	7	4	0	0	12	春のこども会	26	秋のこどもかい	12	0	6	2	1	6	0	3
大正図書館	27	20	0	0	0	12	48	おはなしボランティア「アナンシ」のこども会	10	ふわふわのフェルト人形をつくろう	19	6	10	2	1	5	0	3
天王寺図書館	64	0	0	1	4	1	12	ぼちぼちのおはなし会+ミニえほん展	36	ぼちぼちのおはなし会	15	6	6	0	5	5	0	2
										講演会「棒物のふしぎ」	12							
浪速図書館	50	0	0	1	2	1	12	作って、遊んで人形劇	21	ぐるーぶ ぬ! 劇場	38	2	9	2	2	9	2	3
西淀川図書館	63	18	0	0	2	0	35	パタポン子ども会	23	おはなしを聞いて絵をかこう!	28	6	10	7	3	15	5	5
淀川図書館	26	11	0	0	0	3	35	むか〜し昔あったとき	7	-		3	14	3	3	7	2	6
東淀川図書館	29	12	12	0	0	0	34	絵本がいっぱい!	40	工作教室「木の葉や木の実であそぼう!」	13	3	8	5	0	10	0	6
										工作教室「いたずら猫をつくろう!」	17							
東成図書館	55	3	9	0	1	0	12	絵本びっくり箱	59	秋のおたのしみ会	53	7	5	0	8	10	1	3
生野図書館	11	0	10	1	1	7	11	春の子ども会	27	秋の子ども会 ぐるーぶ ぬ! げきじょう	16	9	8	3	3	5	1	5
										工作教室「海のモビール」作りを楽しもう!	15							
旭図書館	54	0	0	0	0	0	12	どんぐりんのラプリーシアター	66	秋のこども会	27	1	7	2	2	10	0	3
城東図書館	38	1	0	2	1	0	12	春のこども会	27	-		2	8	3	2	6	0	5
鶴見図書館	40	0	0	2	4	6	14	ちいさな子のおたのしみ会	47	くみどりの秋風ライブ	37	1	6	2	1	5	0	4
								でんでんむしのおはなし会	15	ステンシル工作教室	14							
阿倍野図書館	51	9	0	1	0	0	34	おはなし大会	83	パネルシアターをたのしもう!	28	3	4	1	1	3	0	3
住之江図書館	51	0	0	2	2	0	13	えほんで遊ぼう!	40	くみどりの秋風ライブ	22	2	8	5	1	7	0	6
										どんぐり工作でクリスマスリースをつくろう!	27							
住吉図書館	83	14	1	1	10	2	53	春のおはなし大会	77	ねこの人形教室	25	6	6	4	5	5	3	5
										秋のおはなし会	61							
東住吉図書館	73	0	0	0	2	1	12	笑う門にはえほんきたる!	32	えほんひろば「あきかぜはやさしくふいて...」	41	1	10	5	0	8	2	6
平野図書館	37	10	0	0	11	6	35	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会	96	あそび工房	10	8	13	6	5	12	0	7
西成図書館	53	0	0	0	1	0	11	えほんのひろば	13	るんるん えほんのひろば	6	3	12	5	3	11	2	5
合計	1,204	122	65	20	58	39	490		1,131		6,252	91	182	63	65	162	23	98

	学校との連携 (件数)								学校図書館活 性化事業実施 校	ボランティア養成・ステッ プアップ		区の子どもの読書活 動推進連絡会開催日	自動車文庫 ステーショ ン数
	団体貸出件 数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習 支援	おはなし会等 読書支援	学校図書館 整備支援(校 数)	体験学習	図書主任会 への参加		回数	参加者 (延人数)		
中央図書館(西区)	21	2,270	15	12	3	1	7	2	平成22年度か ら全校実施	13	715	10月12日 3月8日	1
北図書館	10	2,459	10	23	4	0	4	1		8	60	3月27日	4
都島図書館	12	4,355	8	18	2	1	5	1		9	82	2月22日	3
福島図書館	12	2,164	8	22	17	0	2	0		9	28	2月26日	1
此花図書館	7	1,865	5	10	2	0	1	0		9	61	2月27日	4
島之内図書館(中央区)	5	1,786	6	11	15	0	3	2		8	82	3月12日	1
港図書館	10	1,664	13	10	52	1	7	1		5	45	3月7日	2
大正図書館	10	1,399	12	25	59	0	2	0		0	0	3月27日	2
天王寺図書館	11	4,107	8	20	6	0	3	0		10	77	3月5日	1
浪速図書館	11	835	9	10	44	0	1	0		5	18	2月6日	1
西淀川図書館	10	2,372	14	19	172	0	2	0		4	30	3月5日	5
淀川図書館	16	7,535	9	24	7	1	2	0		11	68	3月27日	10
東淀川図書館	16	2,951	15	26	25	0	2	0		6	90	3月12日	12
東成図書館	13	2,426	10	31	6	0	5	0		1	14	3月28日	1
生野図書館	15	2,941	5	37	75	0	7	0		4	35	3月22日	3
旭図書館	11	2,699	11	18	16	0	5	0		8	78	2月5日	3
城東図書館	13	4,034	13	20	7	0	3	0		4	54	3月15日	9
鶴見図書館	12	2,225	13	17	13	0	4	0		15	133	1月9日	4
阿倍野図書館	9	2,767	10	31	51	1	5	1		9	83	2月7日	5
住之江図書館	14	3,579	17	39	6	1	6	0		7	72	2月1日	8
住吉図書館	21	3,064	13	15	2	1	8	0	7	119	3月15日	9	
東住吉図書館	18	4,490	7	23	16	1	7	1	6	56	3月15日	5	
平野図書館	21	4,450	12	16	106	5	9	0	6	60	3月6日	11	
西成図書館	9	999	5	11	12	0	8	0	6	46	3月22日	2	
合計	307	69,436	248	488	718	13	108	9		170	2,106		107

	館内の催し(実施件数) (子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバル含まず)							子ども読書の記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)		幼児期読書環境整備事業						ブックスタート事業 (実施施設数)
	絵本の読み聞かせ	ストーリーテリング	紙芝居	人形劇	工作教室	おりがみ教室	乳幼児向けおたのしみ会	内容	参加者数	内容	参加者数	配本事業(実施施設数)			ボランティア派遣(実施施設数)			
												幼稚園	保育所	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	その他子育て支援施設	
中央図書館(西区)	198	10	18	2	2	0	23	春のおたのしみ会	50	「おはなしたのしいでえ! In大阪」フェスティバル	3,336	6	7	0	4	2	0	3
										村上しいこ講演会 本と私と、ねこ	54							
								わたしが死ぬことどう思ってるの?ード キュメンタリー映画「100万回生きたねこ」 を撮ってー	220	図書館たんけん隊!	54							
										「おはなしたのしいでえ! In大阪」講演会 新井満さんの講演と朗読と歌唱の午後	243							
北図書館	39	0	0	0	1	0	9	春のおたのしみ会	48	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター	42	4	6	2	4	3	1	3
都島図書館	36	12	1	1	1	0	12	「絵本の会ふあいと」の春のおたのしみ会	32	のこぎり音楽と絵本の午後	50	1	6	1	1	2	0	3
福島図書館	61	2	0	1	1	0	11	ま〜るま〜るのびっくりぱこ	27	絵本のひろば	52	3	10	0	2	8	0	3
此花図書館	23	0	12	1	13	0	10	春の子ども会	22	秋の子ども会	25	1	6	2	1	6	2	3
島之内図書館(中央区)	50	0	0	1	0	0	20	春の子ども会	37	工作教室「いたずらねこをつくろう」	28	7	5	0	6	3	1	3
港図書館	52	0	0	2	1	0	11	春のこども会	22	秋のおはなし会	14	0	7	2	1	5	0	3
大正図書館	22	25	0	0	0	12	53	ひまわりの会のこども会	15	さわる絵本をつくってみよう!	12	6	11	2	2	6	0	3
天王寺図書館	64	1	0	0	4	2	12	ぼちぼちのおはなし会+ミニえほん展	21	ぼちぼちのおはなし会	13	6	9	0	5	5	0	2
浪速図書館	49	1	0	2	1	0	12	作って、遊んで人形劇	22	ぐるーぶ ぬ! 劇場	48	2	8	1	2	9	2	3
										ネーチャークラフト	19							
西淀川図書館	61	13	0	1	1	0	36	春の子ども会	22	音楽とおはなし	33	4	14	7	2	15	5	5
淀川図書館	26	11	0	0	2	1	36	おはなし くるりん パッ!	41	淀川図書館まつり〜おめでと〜30周年〜	133	3	13	3	3	7	2	7
東淀川図書館	28	11	11	0	1	0	36	絵本を楽しむ	35	工作教室「木の葉や木の実であそぼう!」	24	3	8	5	0	9	0	6
										あつぷぷぷ	40							
東成図書館	61	5	9	0	1	0	12	おはなしびっくり箱	38	秋のおたのしみ会	30	8	5	1	6	7	2	2
生野図書館	14	0	2	1	7	6	11	春の子ども会	23	秋の子ども会 ぐるーぶ ぬ! げきじょう	40	8	12	2	3	5	1	7
旭図書館	55	0	0	0	0	1	12	どんぐりんのラブリーシアター	16	秋のこども会	53	1	7	2	2	10	0	3
城東図書館	61	1	0	2	1	0	12	春のこども会	33	いろんなことばのおはなし会	14	2	11	3	2	6	0	5
										秋のこども会	17							
鶴見図書館	43	0	0	2	4	6	15	ちいさな子のおたのしみ会	60	くみどりの秋風ライブ	40	1	11	2	1	6	0	4
								でんでんむしのおはなし会	12									
阿倍野図書館	51	10	0	1	2	0	36	おはなし大会	68	パネルシアターをたのしもう!	63	3	6	1	1	3	0	3
住之江図書館	49	0	0	3	2	0	12	絵本であそぼ!	30	おはなしデュオくみどりのおはなし組木	52	2	8	2	1	7	3	6
										おいしい絵本を楽しもう!	30							
										どんぐり工作教室「サンタさんのおうちを作ろう」	46							
住吉図書館	75	13	0	0	12	1	53	春のおはなし大会	67	ねこの人形教室	24	6	7	4	5	5	3	6
										秋のおはなし会	66							
東住吉図書館	74	0	0	0	2	0	12	赤ずきんとドロップスとえほんであそぼ!	41	えほんひろば	35	1	9	4	0	9	2	6
平野図書館	35	10	0	0	12	6	30	おりがみ教室	13	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会	40	8	14	8	5	12	0	9
								絵本サークル「ぶくぶく」はるのおはなし会	18									
西成図書館	53	0	0	0	3	0	12	るんるん えほんのひろば	5	るんるん えほんのひろば	9	3	11	5	3	11	2	5
合計	1,280	125	53	20	74	35	498		1,056		4,806	89	211	59	62	161	26	103

	学校との連携 (件数)								学校図書館活 性化事業実施 校	ボランティア養成・ステッ プアップ		区の子どもの読書活 動推進連絡会開催日	自動車文庫 ステーショ ン数
	団体貸出件 数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習 支援	おはなし会等 読書支援	学校図書館 整備支援(校 数)	体験学習	図書主任会 への参加		回数	参加者 (延人数)		
中央図書館(西区)	29	5,768	20	16	2	0	24	1	平成22年度か ら全校実施	16	958	11月18日 2月28日	1
北図書館	12	3,002	10	32	17	0	2	0		11	71	3月26日	4
都島図書館	14	2,141	8	20	3	2	8	3		8	44	3月18日	3
福島図書館	12	3,584	8	23	15	1	4	0		6	49	2月25日	1
此花図書館	9	2,934	6	25	0	0	3	0		9	49	3月6日	4
島之内図書館(中央区)	6	1,386	6	5	63	1	8	1		6	49	3月20日	1
港図書館	9	2,092	12	11	60	1	16	1		5	42	3月25日	2
大正図書館	14	1,495	11	22	137	4	2	0		0	0	3月26日	2
天王寺図書館	12	4,550	7	22	72	0	0	0		8	79	3月25日	1
浪速図書館	9	1,478	6	8	267	3	3	0		7	48	2月4日	1
西淀川図書館	12	2,686	12	35	137	2	4	0		11	87	3月4日	5
淀川図書館	17	6,785	6	27	14	1	6	0		6	56	3月26日	10
東淀川図書館	16	4,227	15	30	5	0	9	0		5	57	3月14日	12
東成図書館	11	2,355	9	21	144	1	21	0		4	51	2月28日	1
生野図書館	10	2,259	4	15	109	3	18	0		10	62	3月18日	3
旭図書館	9	1,579	10	6	11	1	14	0		2	10	3月27日	3
城東図書館	17	8,358	6	34	0	4	4	2		6	61	2月25日	9
鶴見図書館	13	2,631	11	28	180	1	21	0		6	65	3月7日	4
阿倍野図書館	8	2,484	10	28	193	0	12	0		5	53	3月27日	5
住之江図書館	16	7,326	16	45	62	3	16	1		8	120	11月13日	8
住吉図書館	18	3,372	11	4	0	2	14	0	7	105	3月7日	9	
東住吉図書館	16	6,046	5	36	202	4	11	0	9	76	2月25日	5	
平野図書館	23	5,185	10	27	118	3	12	0	9	95	2月19日	11	
西成図書館	9	1,246	8	18	91	2	19	1	4	5	5月20日	2	
合計	321	84,969	227	538	1,902	39	251	10		168	2,292		107

第2次計画を推進するための重点的取組み(2次計画P34～36)

取組み名	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	29年度 (2017) 目標
市立図書館における 児童書の貸出冊数 (継続・拡充)	2,703,476冊	2,641,490冊	2,563,417冊	2,800,000冊
市立図書館における 13～19歳の年度利用者数 (継続・拡充)	18,962人	18,319人	21,425人	22,000人
学校図書館(小学校)の 週当たり開館回数の増加 (継続・拡充)	4.2回	3.8回	4.5回	5回以上
「読書が好き」な児童・生徒の割合 (「全国学力・学習状況調査」より)		小学校 全国平均72.6% 大阪市66.6% 中学校 全国平均66.6% 大阪市56.8%	小学校 全国平均72.1% 大阪市65.4% 中学校 全国平均70.1% 大阪市57.4%	全国平均に
昼休みや放課後、学校が休みの日 に、学校図書館・図書室や地域図書 館を利用しない児童・生徒の割合 (「全国学力・学習状況調査」より)		小学校 全国平均31.4% 大阪市48.1% 中学校 全国平均57.9% 大阪市72.8%	小学校 全国平均29.4% 大阪市47.3% 中学校 全国平均58.0% 大阪市73.0%	全国平均に
子育て支援施設での 読み聞かせ (継続・拡充)	97か所	98か所	103か所	105か所
(参考) ボランティア 派遣施設数 ブックスタート 実施状況 *参加人数は把握できていない		250か所 実施件数1,198件 配布冊数8,205冊	249か所 実施件数1,236件 配布冊数8,622冊	
市立図書館から小・中学校への 団体貸出 (継続・拡充)	51,424冊	67,413冊	82,010冊	60,000冊以上
「ティーンズのページ」 アクセス数の増加 (継続・拡充)	6,346件	5,964件	7,337件	10,000件以上
読書支援ボランティア数 (継続・拡充)	2,433人	2,533人	2,521人	2,500人以上
「子どもの読書活動推進連絡会」の 開催 (継続)	大阪市、各区年1回以上開催			

平成 25 年度 各区 子どもの読書活動推進連絡会 報告

1. 構成メンバー

ボランティアグループ、区役所（子育て支援担当、生涯学習担当など）、保育所、つどいの広場、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、小学校、中学校、区社会福祉協議会など

2. 主な報告

(1) 子育て支援の場での取り組み

親子フェスタやえほん展などを、子育て支援施設と連携して実施したり、子育て情報誌に絵本の紹介を掲載するなどの取り組みが行われている。

ブックスタート事業は平成21年の実施方法の変更により参加者数の伸び悩みが課題となっているが、3か月児健診でのブックスタート事業啓発活動の効果もあり、徐々にではあるが増加の傾向がみられる。

①子育て支援センターや子ども・子育てプラザ等施設での読書支援活動の広がり

- ・子育て情報誌におすすめ絵本の紹介文を掲載。
- ・区単位で実施していた「親子のつどい」を中学校区の単位で「子育て支援プロジェクト事業」として5回出張イベントを行った。
- ・区役所内で月1回サロンを開催。乳幼児の利用が多いので、乳児向けの絵本を増やした。

②ブックスタート事業について

- ・土曜日に実施している施設ではお父さんの参加や両親揃っての参加も見られる。
- ・実施施設によっては申し込みが多く、2部制にしたり、翌月に回ってもらったりしている。
- ・図書館から遠いところでは、ブックスタート実施施設での絵本の貸出が利用されている。

(2) 学校での取り組み

①小学校

- ・図書館から小学校へは学校通送便を利用し、一斉読書や調べ学習のための団体貸出が順調に伸びている。おはなし会の実施回数も年々増加している。
- ・絵本の紹介や絵本選びの感想などをお知らせで発行している。
- ・給食時の全校放送で、読み聞かせやクイズをしている。
- ・新たなボランティアメンバーを募るため、地域への呼びかけなど工夫している。
- ・高学年児童が低学年児童に、読み聞かせをしている。

②中学校

学校元気アップ地域本部事業が平成25年度に全校実施となった。読書活動の推進に取り組んでいる中学校では、ボランティアや市立図書館と連携・協力しながら、学校図書館の整備や絵本の読み聞かせが行われている。

- ・朝読の効果で、本を読む習慣がついてきた。学校図書館利用が増え、生徒同士で本について情報交換している姿がみられる。
- ・ボランティアが、いろいろなテーマで読み聞かせを行っている。
- ・「読書の木」を使って、おもしろかった本や薦めたい本を紹介している。

(3) 地域との連携の場での取り組み

区役所や地域の施設と、ボランティア、図書館とが連携、協力して実施する絵本展や講座も増えている。また、読書活動の推進に区が独自に取り組んでいる事業もある。

- ・区役所の待合スペースなどに絵本コーナーを設置。
- ・幼稚園で中学校の生徒によるおはなし会を実施。

(区の取り組み)

[港区] 「絵本による読書活動促進スタートアップ事業」(平成25年度～)

絵本ひろばの実施、支援、活動を通じて、子どもの読書活動を促進。

[西淀川区] 「にーよん文庫」(平成26年2月開設)

子ども・子育てプラザ、老人福祉センターで開設。つどいシアター、本の読み方、組み木、エプロンシアターなど、関連の本を紹介。

[淀川区] 「はぐくみ文庫事業」(平成25～27年度)

小学校図書館に図書や本棚、パソコンを設置し、読書活動を支援。H25年度は6校でスタート。

[東淀川区] 「絵本読み聞かせ事業」(平成25年度～)

読み聞かせボランティアの養成。求めに応じてボランティアを派遣。区民から提供された絵本の貸出。絵本の読み聞かせの習慣を広げ、絵本に親しむ機会を増やす。

中学校における読書活動の推進

「上町中学校と島之内図書館との連携でできたこと」

平成26年7月7日

上町中学校地域コーディネーター

1. はじめに

2. 経過

3. 実際の様子

4. 今後について

「読み語り」で使った絵本 他

実施日	本	
2011. 11. 8	写真絵本「あさの絵本」	谷川俊太郎/文 吉村和敏/写真
	絵本「しげちゃん」	室井 滋/作 長谷川義史/絵
	大型絵本「花さき山」	斎藤隆介/作 滝平二郎/絵
	絵本「ねこのせんちょう」	マドレーヌ・フロイド/作 木坂 涼/訳
	絵本「3びきの子ブタのほんとうの話」	ジョン・シェスカ/文 レイン・スミス/絵 いくしまさちこ/訳
	詩「1本の鉛筆」	松山善三/作(美空ひばりの歌)
2012. 2. 14	絵本「ナヌークの贈りもの」	星野道夫/著
	写真集「BONES 動物の骨格と機能美」	湯沢英治/写真 東野晃典/文・構成
	絵本「モチモチの木」	斎藤隆介/作 滝平二郎/絵
	絵本「まるまるまるのほん」	エルヴェ・テュレ/作 谷川俊太郎/訳
		金子みすずの「こぶとりじいさん」
2012. 5. 10	浦島太郎(巻き絵と歌)と 金子みすずの世界	
	朗読「開放区2」より「あきらめない」	木村拓哉/著
	絵本「どこいったん」	ジョン・クラッセン/作 長谷川義史/訳
	落語絵本「たのきゅう」	川端 誠/作
	紙芝居「蜘蛛の糸」	芥川龍之介/作 鈴木景山/構成 羽室邦彦/絵画
	絵本「こっぷ」 と谷川俊太郎の本の紹介	谷川俊太郎/文 今村昌昭/写真 日下 弘/監修 「もこもこもこ」「わたし」 「あさの絵本」他
2012. 7. 5	絵本「いわしくん」	菅原たくや/著
	狂言絵本「かたつむり」	内田麟太郎/文 かつらこ/絵
	絵本「おこだてませんように」	くすのきしげのり/文 石井聖岳/絵
	唱歌「海」と金子みすずの詩 絵本「メアリー・スミス」	「海の果」「いいこと」「手帳」 アンドレア・ユーレン/作 千葉茂樹/訳

2012. 10. 25	絵本「ひるまのおつきさま」	遠藤湖舟/作
	朗読「サリバン小伝」 「三重苦の奇跡の人 ヘレン・ケラー自伝」より	ヘレン・ケラー/著 今西祐行/訳
	絵本「ねえ、どれがいい？」	ジョン・バーニングム/作 まつかわまゆみ/訳
	ブックトーク「見上げてごらん 空」 「すごい夜空の見つけかた」 「月のえくぼ(クレーター)を見た男 麻田剛立」 「星の林に月の船 声で楽しむ和歌・俳句」より1句 「天の海に 雲の波立ち 月の船 星の林に 漕ぎ隠る見ゆ」	林 完次/写真・文 鹿毛敏夫/著 大岡 信/編 (柿本人麻呂)
	絵本「ハグくまさん」	ニコラス・オールドランド/作 落合恵子/訳
	絵本「どうぶつさいばん ライオンのしごと」	竹田津 実/作 あべ弘士/絵
	紙芝居「しょじょじのためきばやし」	監修/森 やすじ 倉橋達治/作画・美術・仕上
2012. 12. 4 琴とのコラボ	絵本「賢者のおくりもの」	オー・ヘンリー/文 リスベート・ツヴェルガー/画 矢川澄子/訳
	絵本「のみのびこ」	谷川俊太郎/文 和田 誠/絵
	琴の演奏と紙芝居「泣いたあかおに」	紙芝居・・・浜田ひろすけ/作 野村たかあき/絵
	琴 演奏「六段」 琴 演奏と斉唱	「花かげ」
2013. 2. 5 ギターとの コラボ	絵本「つるにようぼう」	矢川澄子/再話 赤羽末吉/画
	歌「まりととのさま」	西条八十/詞
	絵本「サンカクノニホン 6852の日本島物語」	伊勢華子/著
	ギター演奏と朗読 Imagine	ジョン・レノン/詞・曲
	絵本「ふきまんぶく」 ギター演奏と歌 Imagine	田島征三/文と絵

2013. 5. 7	絵本「きょうのそらはどんなそら」	ふくだとしお・ふくだあきこ/作
	絵本「これは本」	レイン・スミス/作 青山 南/訳
	朗読「元横浜市長 中田 宏「心の玉手箱」	2007年7月30日の日経新聞より
	絵本「くるまのねだんのえほん」	上泉 均/撮影
	ブックトーク 「『大発見』の思考法 ips細胞 vs. 素粒子」 「『はやぶさ』式思考法 ー日本を復活させる24の提言」 「負けない！ ー挑戦することは楽しいこと」	山中伸弥 と 益川敏英 対談集 川口淳一郎/著 クルム伊達公子/著
絵本「その気になった」	五味太郎/作	
2013. 7. 2	朗読「蜜柑」の1節	芥川龍之介/作
	紙芝居「宮沢賢治 よだかの星」	国松俊英/脚本 篠崎三朗/画
	絵本「おやすみ ぼく」	アンドリュー・ダッド/文 エマ・クエイ/絵 落合恵子/訳
	詩「本の鉛筆」	松山善三/作（美空ひばりの歌）
	ブックトーク「読んでから見るか、 見てから読むか」 「風と共に去りぬ」 「しゃべれども しゃべれども」 「旅するジーンズ」	原作：マーガレット・ミッチェル 映画：1939年公開 ヴィクター・フレミング監督 原作：佐藤多佳子 映画：2007年公開 平山秀幸監督 原作：アン・ブラッシュアーズ 映画：「旅するジーンズと 16歳の夏」 2005年公開 ケン・クワビス監督
	「図書館戦争」	原作：有川 浩 2013年公開 佐藤信介監督
2013. 10. 29	落語絵本「めぐろのさんま」	川端 誠/作
	絵本「ALDO わたしだけのひみつのともだち」	ジョン・バーニンガム/作 谷川俊太郎/訳

	朗読「15歳の寺子屋 道は必ずどこかに続く」 (映画「ベイ・フォワード」について)	日野原重明
	歌舞伎絵本「知らざあ言って 聞かせやしょう」	河竹黙阿弥/文 斎藤 孝/編 飯野和好/絵
	絵本「ふしぎなでまえ」	かがくいひろし/作
	絵本「ぼくのおじいちゃんのかお」 & ストーリーテリング 「あくびがでるほどおもしろい話」	天野祐吉/作 沼田早苗/写真
2014.1.10	絵本「おじさんとゆきじん」	赤川 明/作・絵
	鳥取の昔話「えすがたにようぼう」	稲田和子/再話 島中光喜/画
	絵本「メチャクサ」	ジョナサン・アレン/作 岩城敏之/訳
	絵本「木」 とブックトーク 「佐藤忠良彫刻写真集」 「おおきなかぶ」	佐藤忠良/画 木島 始/文 トルストイ/再話 内田 莉莚子/訳 佐藤忠良/画
2014.2.18	When you wish upon a star	「星に願いを」
JAZZの夕べ	Fly me to the moon	「私を月に連れて行って」
	Over the rainbow	「虹のかなたに」
	There will never be another you	「あなたなしではられない」
2014.5.27	絵本「蜘蛛の糸」	芥川龍之介/作 遠山繁年/絵
	絵本「のどからあいうえお」 とブックトーク 「驚くべき日本語」 「だるまさんの」	斎藤 洋/作 高島 純/絵 ロジャー・バルバース著 早川敦子/訳 かがくいひろし/作
	絵本「はくちょう」	いせひでこ/文 内田麟太郎/絵
	朗読「出会いは桜色」 ENEOS童話賞優秀作品	岸 萌佳(中学2年生)
	素話で中国の昔話「山蟻大王」	

上町元氣UP!!

大阪市立上町中学校元氣アップ地域本部

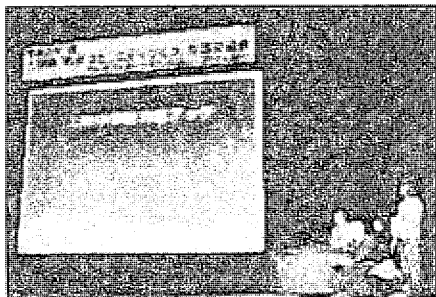
大阪府教育コミュニティづくり 実践報告会で発表

～2月22日 ドーンセンター～

2月22日(土)、本校の“元氣アップ”事業を、大阪市代表として報告させていただきました。

府内4校の小中学校とともに発表した、大阪府教育コミュニティづくり実践報告会。会場のドーンセンターには、200名以上の教育関係者が集まりました。

大阪市では、“元氣アップ”事業



大阪府教育実践報告会にて

三重県亀山市 校長会 視察

1月10日(金)には、三重県亀山市校長会からの視察も受けました。

小中学校14名の校長先生方は、“元氣アップ”「読み語りの会」を見学。静かに絵本の朗読を聴く中学生の姿にとっても感嘆されていました。

に取り組んでいるのは130校すべての中学校。そして各校ともに特色ある活動を始めています。

その中で大阪府教育委員会からのご指名。本校は、他校との相違と考えられる次の3点を中心に報告いたしました。

1. 安定した活動
充実した学習会・図書館活動(読み語りの会も)の実現
2. ボランティアさんの協力
支援してくださる多くの大学生・地域ボランティアさんの存在
3. 地域コーディネーター制
地域の方々による運営がスタート
いずれも、地域の皆様のご支援の賜物です。ありがとうございます。



「読み語りの会」見学の校長先生

引き続き行われた研究協議会でも熱心に質問をしていただき、充実した質疑応答の時間となりました。

盛り沢山の3学期

この3学期のおもな“元氣アップ”の活動です。

1月10日(金)
亀山市校長会視察と「読み語りの会」。



1月23日(木)
から3年テスト前学習会。

2月18日(火)
には大阪音楽大ジャズのタペ。



2月22日(土)
大阪府教育コミュニティでの発表。



そして
2月20日(木)
からの1・2年
テスト前学習会

ボランティアさん募集!!

上町中学校
上町中学校生でボランティアしていただけませんか?

学生、社会人を問いません。
連絡先 上町中学校 ☎06-6762-6556
教頭：上田 明
地域コーディネーター(係)：小清水貞喜

島之内図書館長さんから ～この春 読みたい3冊～

今号でも、島之内図書館 榎館長さんにおすすめの本を挙げて頂きました。

☆「燦(さん)」1～4文藝春秋社(文春文庫) あさの あつこ著
鳥獣を自在に操る異能の一族「神波

(かんぱ)」の少年 燦(さん)たちの煌めく(きらめく)時代少年小説。

☆「仏果を得ず」双葉社 三浦 しをん著
文楽好きの著者が描いた、文楽という伝統芸能の世界に飛び込んだ健(たける)の青春物語。

☆「ボクの音楽武者修行」新潮社(新潮文庫) 小澤 征爾著
音楽にかける若き日の世界的指揮者。

その、家族への手紙も織り交ぜられた文章もみずみずしい感性に溢れて・・・

編集後記

3学期には、視察・報告会といった慣れない経験。本校の“元氣アップ”が対外的に評価されつつあるということでしょうか。

皆様、来年度もご指導のほど、よろしくお願いたします。(地C)



書評漫才(SBR)グランプリの取組

～10代に新たな形で読書の魅力を伝える～



大阪市立中央図書館(大阪府大阪市) <http://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

基本データ(数値はH25年現在)

住所	大阪市西区北堀江4-3-2
電話番号	06-6539-3300
人口(図書館が所在する市町村)	2,678,051人
職員数(うち有資格者数)	111人(96人)
蔵書数	1,975,975冊
登録者数	157,929人
年間貸出冊数(H24)	2,635,115冊

目的・趣旨

- ・「読書離れ」といわれる中高生に、読書に関心を持ってもらい、図書館に来館するきっかけを作る
- ・ヤングコーナー担当行事の来場者アンケートで要望の高かった「お笑いコンテスト」を図書館で行うにふさわしい形で開催する

取組概要

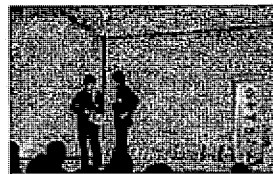
- ◎お笑いコンテストに、本を紹介して競い合うビブリオバトルの要素を加味した催しを企画し、「書評漫才(SBR)グランプリ」と名付けて実施。持ち時間3分で1冊の本を漫才で紹介し、審査員団の評価した点数で優勝者を決定する。SBR:stand-up book reviewの略称
- ◎参加資格は10代のコンビ
- ◎評価基準は、①本を読みたくさせたか②紹介の面白さ③その他(見た目のインパクトなど)
- ◎審査員には、地縁や人脈を駆使して頼み込み、大阪府立上方演芸資料館学芸員、人気作家、地元洋菓子店の広報担当者、公務員漫才コンビ、市立高校校長と、多彩な面々に引き受けていただいた。



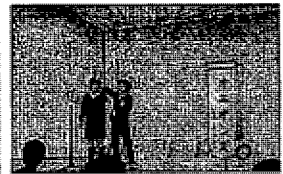
受賞者たちのようす

特徴

- ◎全国初の試みであるため、第1回については出場申込者数や来場者数を全く予想することができない催しであった。
- ◎お固いイメージの図書館で「漫才コンテスト」という意外性もあり、マスコミが好意的に取り上げてくれた。
- ◎チラシやポスターの配布は、図書館、学校のほか、芸人の養成学校や舞台関係の専門学校、高校生の全国漫才コンテスト地方予選会場でも行った。
- ◎ホームページやツイッターを積極的に活用し、見本となるデモ動画の作成と公開、書評漫才ネタ作成の事例紹介、「じぇじぇ」「倍返し」などの流行語を盛り込んだツイートなどを行った。
- ◎第2回開催については、関連図書展示「芸人本100冊、だいたい。」と、大阪府立上方演芸資料館の協力による、資料館所蔵資料の展示を図書館で行った。
- ◎出場者は本とお笑いが好きの人が多かったが、日常的に図書館を利用している人は少なく、普段来館しない層に働きかけることができた。
- ◎アンケート結果は概ね好評で、出場者、来場者ともに次回開催を希望するものが多かった。



中学生も…



小学生も…

取組の成果と今後について

・出場者数は第1回の高校生7組から第2回は小学生3組、中学生4組、高校生6組の計13組、来場者数は第1回の90名から第2回は250名に増加した。

・来場者の声「大層面白い催しだった」「面白かった」「大阪府立中央図書館で文化が…」

・出場者の声「大層楽しかった」とても楽しかった」「大層の前で出来た感じが…」

・今後も当イベントの開催情報とともに、10代の人口減少の抑止と読書の魅力を伝える催しに取り組んでいく。

文部科学省ホームページ www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/jirei/

図書館実践事例集 ～人・まち・社会を育む情報拠点を旨して～「様々な利用者へのサービス」より

平成26年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会出席予定者名簿

(平成26年7月7日)

お名前 (敬称略)	代表区分	所属・役職名等
久 隆浩	学識経験者	近畿大学教授
村木 美紀	学識経験者	同志社女子大学准教授
佐阪 陽子	社会教育関係団体	大阪市P T A協議会研修委員長
宮本 隆司	社会教育関係団体	大阪市P T A協議会広報情報推進委員長
柳本 真知子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会運営委員長
吉田 典子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
磯中 ミツ子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
根川 興義	区の子どもの読書活動推進連絡会 代表	北 西天満小学校 学校図書館支援ボランティア「てんちゃん」
松原 俊子 大谷 昭子	同上	都島 都島中学校図書ボランティア「プルレ・リール」
松原 典代	同上	福島 マトリョーシカ
福田 清美	同上	此花 此花図書館絵本の会
釣島 恭子	同上	中央 絵本の会島之内
三浦 京美	同上	西 絵本の会西
林田 育代	同上	港 絵本の会みなと
善勝 憲子 鷺見 順子	同上	大正 絵本の会 大正
野田 祐子	同上	天王寺 天王寺おはなし「ぼちぼち」
上田 道代	同上	浪速 なにわえほんの会
鶴久森 典子	同上	西淀川 絵本の会西淀川ぼけっと
田近 静代	同上	淀川 絵本の会淀川
渡邊 裕美子	同上	東淀川 おはなしボランティアとことこ
巽 澄子	同上	東成 パンジーおはなし会
大嵩 依子	同上	生野 あじさいブッククラブ
中 明香	同上	旭 本のとびら
寺嶋 郁子	同上	城東 城東絵本の会
三木 佳世子	同上	鶴見 鶴見おはなしサークルでんでんむし
薬師寺 公子	同上	阿倍野 絵本の会あべのあのねのね
原田 悦	同上	住之江 絵本の会住之江
山田 逸子	同上	住吉 住吉絵本の会
田島 良	同上	東住吉 おはなしたまてばこ
谷田 伊久美	同上	平野 おはなしたからばこ
津村 陽子	同上	西成 西成絵本の会

平成26年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿

(平成26年7月7日)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
中央図書館館長	辻本 尚士
中央図書館総務担当課長	鎌塚 隆男
中央図書館利用サービス担当課長	大久保 典子
中央図書館地域サービス担当課長	松下 玲子
中央図書館地域サービス担当課長代理	藤井 直美
中央図書館利用サービス担当課長代理	長谷部 絵理
中央図書館利用サービス担当課長代理	宮田 英二
中央図書館 担当係長	鎌田 恵子
〃 〃	波多野 圭子
〃 〃	正井 文博
〃 〃	小西 敏章
〃 〃	戸倉 信昭
北図書館長	竹田 君代
都島図書館長	野村 薫
福島図書館長	川嶋 恵子
此花図書館長	池上 也之保
島之内図書館長	榎 加奈子
港図書館長	成元 勝
大正図書館長	井上 有佐
天王寺図書館長	村岡 和彦
浪速図書館長	森家 さち子
西淀川図書館長	赤堀 祐子
淀川図書館長	田野 晶子
東淀川図書館長	角田 人志
東成図書館長	藤江 千恵
生野図書館長	濱田 千賀子
旭図書館長	平田 満子
城東図書館長	井上 由美子
鶴見図書館長	庄野 清美
阿倍野図書館長	齊藤 美子
住之江図書館長	縣 和世
住吉図書館長	浅川 裕俊
東住吉図書館長	荒木 麻里
平野図書館長	米川 くりえ
西成図書館長	山田 和伸

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
指導部 首席指導主事	稲森 歳和
指導部 総括指導主事	大澤 啓司

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
生涯学習担当課長	濱崎 正行
生涯学習部担当係長	稲生 優子

「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」実施報告書 平成27(2015)年2月

大阪市教育委員会 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20